

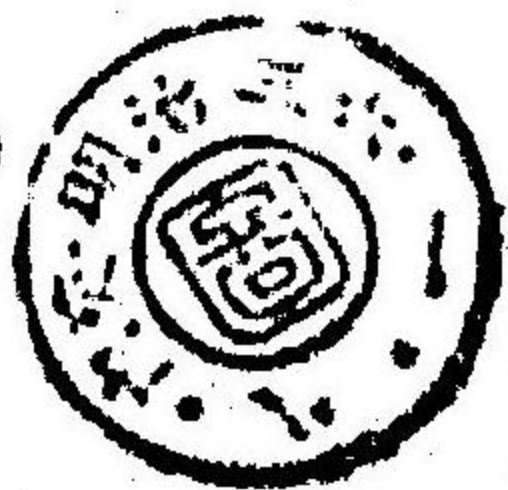
中等
教育
教授法研究會編纂

上
卷

最新
外國地理教科書

東京

六盟館



最新外國地理教科書

編纂の趣旨

- 一、本書は屢に發刊せる最新本邦地理教科書に關聯して中等教育の諸學校に於ける教科用書に供せんが爲に最新の材料に依り編纂したるものにして、其綱目は文部省訓令第三號に準據し、特に從來區々として一定せざりし地名人名は地理及歴史教授用外國地名及人名の稱へ方及書き方取調委員の復命書に一致せしめたり。
- 二、本書は本邦地理を基本として世界の地理學上に於ける普通の智識を授け、思想の範圍を擴め、處世上の實益を收めしむるを以て目的としたり。
- 三、本書は富國強兵の基礎たる殖産興業に重きを置き、尙學生に精確なる智識を興へ、記憶を鞏固ならしめ、且興味を興へんが爲に、精巧なる各國の風景風俗畫數十個及美麗なる物産圖數葉を挿入したり。
- 四、本書は學生の心力發達の度と、教授の便とを考へ、從來の順序方法を改め、始に自然地理の概念を興へ、次ぎに人文地理を授け、之を結論し、終に全體を總括し、學生をして略世界の大概に通曉せしめんことを務めたり。

五、本書は従来の弊に鑑み、辭句を平易にし、敘事に興味を加へ、且紙数を減して、教授者の爲に臨機敷衍説明の餘地を存し、一時間に凡三頁を教授し、毎週一時間宛三箇年に終る豫定にて編纂したり。

六、學校の種類或は學生智識の程度に應じ、又教材の伸縮を自由ならしめんが爲め、細字を以て記載し、且濫に繁多なる事項に涉り或は數量を記憶せしむることを避くると、同時に正確なる觀念を與へ、若くは敷衍の便に供せんが爲めに、上欄を設けて記載せり。

本會常務委員邦地理教科書を編纂するや、文部省は僅に四句を出でずして檢定せられ、教官の稱賛と江湖の歡迎とは直に第六版を重ねるに至れり、之れ本會編纂の趣旨が世に一致せしを證明するものにして、本會の光榮とする處なり、加ふるに諸氏の懸篤なる注意批評を辱ふし、又其相關聯せる外國地理の發刊を促さる、茲に此書成る、杜撰の點切に大方諸君の教示に吝ならざらんことを望む。

明治三十五年十二月

中等教育教授法研究會識

最新外國地理教科書 上卷 目次

緒論

地球

第一章

アジア

五

總論

位置 境界 廣袤 人口 區劃 沿岸 地勢

五

氣候 天產物

一 韓朝鮮

一一

二 清支那

二五

支那本部

二九

滿洲東三省

三八

蒙古……………四一

新疆省……………四二

青海……………四二

土伯特……………四二

三 アジアロシア……………五四

イ、シベリア……………五五

ロ、ロシア領中アジア……………六一

ハ、カフカス……………六三

四 アジアトルコ……………六四

五 アラビア……………六七

六 イラン……………六八

イ、メソポタミア……………六八

第二章 太平洋……………九五

住民 交通

括論……………九一

九 マライ群島……………八八

ニ、フランス領インドシナ……………八六

ハ、海峽殖民地……………八五

ロ、シナム……………八二

イ、ビルマ……………八一

〇 インドシナ……………八〇

七 インド附ネパール及ブータン……………七二

ハ、メルクスタン……………七二

ロ、アフガニスタン……………七一

目次終

總論……………九五

 境域 區劃 地勢 氣候

 一 オーストラリア……………九七

 イ オーストラリア……………九七

 ロ ニーゼーランド……………一〇四

 二 ポリネシア……………一〇四

 三 ミクロネシア……………一〇七

 四 メラネシア……………一〇九

括論……………一二三

 住民 政治 生業 交通

最新外國地理教科書上卷

中等教授法研究會編纂

緒論 地球

吾人の住居する此世界は、平く見ゆれども、其實は橙の如く球狀にして地球と稱す。地球は其直經凡三千二百里、其周圍凡一萬里あり。

地球の表面は陸と水とよりなり、其總面積凡三千三百萬方里ありて、其内陸地は凡八百六十萬方里を占め、水面は其三倍を有せり。

陸地は六大陸と數多の島嶼とより成りて、Asia亞細亞、Europe歐洲、Africaアフリカ及オーストリアの四大陸は東半球に位置を占め、Australiaオーストラリア、North America北アメリカ及南アメリカの兩大陸は西半球に在り。
 水面は太平洋・大西洋・インド洋・南極洋・北極洋の五大洋と數多の海灣とより成れり、就中最大なるものは太平洋にして、其面積凡陸地の全面積に等し。

陸 土地平坦にして廣大なるときは之を平野又は平原と云ふ、平野にして耕作に適すれば、田圃となし得るも、瘠地なるときは砂漠若くは草原となす、而して平野が海面上六百尺以上の高處にあるときは之を高原と稱す。
 土地の一部少しく隆起すれば丘となり、更に高さもの之を山と云ふ、山は孤立するもの稀にして多くは群立せり、之を山嶺と云ひ、蜿蜒連亘するもの之を山脈又は山系と云ふ、而して山又は山脈の間にある低地を谷と稱す。



す。水 河流の海又は湖に注ぐ處を河口と名づく、吾人が河口に向ひて立ち其右手にあるの地は、右岸にして、左手にあるの地を左岸と稱す。海の大なるものを大洋と云ふ、而して海洋の一部陸地に穿入すれば港灣と稱す、海底は陸地に山谷あるが如く高低あれども、其凸凹甚緩慢なり。

問一、本邦の位置を説れ

問二、第一圖に示せる術語の實例を本邦に就て説れ

第一章 アジア (Asia)

總論

●位置 アジアは、東半球の東北部に位し、太平洋とヨーロッパ及アフリカとの間にあり。

●境界 本洲の北方は北極洋に面し、東邊は北太平洋を隔て、遙に北アメリカと相對せり、南方はインド洋に臨み、西南は紅海及スエズ運河を以てアフリカに接し、西は地中海、Red Sea Suez Canal Mediterranean Sea 黒海、カスピ海、ウラル山脈等を以てヨーロッパと境をなせり、Black Sea Caspian Sea Ural Mountain

●廣姿 本洲は世界第一の大陸にして、地球表面上陸地の三分の一を占め、東西二千五百里、南北二千三百里、其面積二百九十萬方里ありて本邦の約百倍に當れり。

●人口 世界の人口凡十五億中八億七千萬は本洲にあり、
 ●區劃 本洲は我大日本帝國を首として、清・韓・シベリヤ・ムニッ
 シ等の獨立國あれども、其他は大抵歐米諸國の領なり。

大日本帝國	アラブ	シベリヤ
韓 王 國	ペルシア	フランス領インドシナ
清 帝 國	アフガニスタン	海峽殖民地
オーストリア	ベルヒスチアン	Strait Settlements
Asiatic Russia	インド	マライ群島
Asiatic Turkey	India	Malay Archipelago

●沿岸 北極洋沿岸は結氷期長く且流氷多くして船舶を
 通せざれども、太平洋沿岸は半島處々に突出し多くの島嶼
 羅列し、海灣を擁するを以て良港多く、船舶の利便少なから
 ず、デンネッ岬は北アメリカと相對してベーリング海峡を
 C. Dezhnev

挟み、カムチャツカ半島、朝鮮半島は本邦によりてオホツク海。
 Kamtschatka Okotsk Sea
 日本海、黄海、東海を限れり、黄海は又遼東、山東の二半島によ
 りて渤海を分つ、南部にはマライ群島及マライ半島ありて
 支那海を擁し、且太平洋とインド洋との界をなせり、インド
 洋にはインド半島突出してベンガル灣、アラビヤ海を分ち、
 Bengal Arabian Sea
 ヘルニア灣、アデン灣、紅海は更に深く灣入してアラビヤ半
 Aden Arabian
 島を圍めり、地中海、黒海は小アジア半島を圍みて出入多し。
 Asia Minor

●地勢

(1) 山系 露領アラスカ支那インド三國の間に、地球上第一の高原あり、人呼
 ば「世界の屋根」と稱する處にして、之をパミール高原と云ふ、本洲の大山系は
 Pacific
 皆之より四方に分派せり、●東北に連亘するものは天山、アルタイ、ヤブナイ
 Altai Yabonoi
 ノイヌ、ノボイの諸山系にして支那の北境を限れり、●東に出づるもの
 Stanovoi



アソア地勢圖

は崑崙山系にして、其東端は扇骨状に分派し、安嶺北嶺南嶺等となりて支那の域内に蟠結し、其脈延びて本邦に達するものあり、或は横断山脈となりて印度支那半島に達するも

のあり●東南に走るものはヒマラヤ山系にして綿亘六百里世界第一の高山なり●南方に走るものはメーソール山脈なり●西方に山づるものはヒンヅークレネンヌルンツ・タウルス諸山系なり
 Hindukush Elbuz Taurus Suliman
 亞細亞東岸火山脈は、マライ群島より本邦及カムチャッカ半島を経て、遠く亞米利加洲に達する世界第一の大山脈なり。

本洲は以上諸山系によりて地勢自ら五部に分れ氣候人種等の境界を限れり●北亞細亞はヒンヅークレネンヌルンツイ以北の地にしてレベリア露領中アジアの大平原をなせり●中部アジアは北はアルタイ・ヤプロノイ南はロマツヤ東は興安嶺横断山脈によりて限らるゝ大高原にしてゴロ砂漠土伯特高原等を含めり●東アジアは本邦朝鮮滿洲支那本部等を包含し●南アジアはインド及インドナの地をなし●西アジアはイラン・アラビア等の高原をなせり。

(ロ)水系 本洲は大河大湖に富み各種々の特質を有せり即河流は(一)中部
アソアの大水源より發して四方に分流す(二)雙子河となすもの多し(三)廣
大なる面積を有する内地流域河少からず。

北極洋斜面	オム	イニセイ	レナ
	Obi	Yenisei	Lena
太平洋斜面	黒龍江	黄河	揚子江
	Amur		Yangtze
インド洋斜面	イラワディー	ガンガ	インドス
	Irawadi	Ganges	Indus
内地流域河	塔里木	アム河	シラ河
	Tarim	Amu darja	Syr darja
		アラル海	バルカシュ
		Aral	Balkash

湖沼は無口湖にして鹹水なるもの甚だ多しカスヘ海、アラル海、バルカシュ湖、死海等の如き皆是れなり淡水湖はバイカル湖、洞庭湖等を大なるものとす。

●氣候 本洲は寒温熱三帯に跨り面積廣大にして地勢亦
高低一様ならず、且廣大なる砂漠多きを以て、氣候甚だ複雑
なれども、概して大陸性氣候にして、温帯に横はる地方と雖
も、寒暑共に酷烈なり、海洋性氣候は、沿海地及本邦其他諸島
Oceanic Climate

嶼に存するのみ、シベリアの北部は、終歲凍結し世界最寒地
の一なり、南及西アジアは酷熱にして、就中アラビヤは世界
の最暖地なり●大陸性氣候の爲めに、印度洋及太平洋に氣
候風を生ぜしめ、本邦氣候に大なる影響を及ぼし、且印度の
MONSOON
一部に世界最多雨の地を生ずるに至れり、氣候風交代の際、
太平洋岸に往々恐るべき颶風の起ることありて、毎年九月
頃本邦を襲へり。

●天産物 本洲は地勢氣候共に多様なるを以て、天産物甚多様なり、礦
物は銅、日本石炭、日本支那印度金、銀、白金、鉛、シベリア(金剛石)印度あり、植物
は、熱帯に喬木、穀類等を産し、就中樟、松、杉、檜、竹、棉花等の産あり、寒帯には、僅
に蘇苔を生ずるのみ、動物は、南アソアに象、虎、犀、鱉、魚、蛇、等飼養せられ、北
部には毛皮獸、海獸多し。

韓 朝鮮 (Korea)

對馬を距る
三十里
一、二万三千
餘方里

●境域 朝鮮は東アジアの一半島にして、東に日本海西に
黄海を控え、北は鴨綠江、長白山脈、圖們江によりて清露に接
し、南は朝鮮海峡を挟みて我對馬を望見し得べし、面積は我
本州より少しく小にして人口は略我九州に等し。

●區別 もと八道に分ちしが今は左の十三道に分てり。

- 京畿道 忠清北道 忠清南道 全羅北道 全羅南道
- 慶尙南道 慶尙北道 江原道 咸鏡南道 咸鏡北道
- 平安北道 平安南道 黃海道

地勢上、京畿道を境として、北部の江原、咸鏡、平安、黃海を北韓
と稱し、南部の忠清、全羅、慶尙を南韓或は三南と呼ぶ。

海岸線の延
長は一千七
百海里あり

(一) 昔て英國
の占領せし
を以て知ら
る

●海岸 三面海に接し、海岸線稍長し、日本海沿岸は平直に
して斷崖多く、屈曲は僅に慶興灣、ブロートン灣、更に永興灣
の浸入あり、迎日灣あるのみ。●朝鮮海峡沿岸は地勢の爲め
出入島嶼甚だ多く、絶影島は釜山の良港を抱き、巨濟島は本
土との間に内海を擁し、内に馬山浦、鎮海灣あり、其西に閑山
島、南海島等連なれり、巨文島は良泊を有するを以て著る濟
州島は此國第一の大島にして、淡羅山高く聳え、遠方より望
むを得て航海者の目標とせる所、附近漁利多し。●黃海沿岸
も、亦出入島嶼多く、長山串突出して支那の山東角と相對し、
江華灣と朝鮮灣とを分てり、木浦、群山、仁川、鎮南等の開港場
及江華島、豐島、珍島等は本邦人の能く知る所なり。●西海岸
は潮汐の差大にして、三十八尺に及ぶ所あれども、東海岸は

其差僅に一尺内外に過ぎず。●リマン海流は東海岸を洗ひて南流し、朝鮮海峡を過ぎ東海に向ふ。

●地勢 漢江流域の以南に位せる南韓地方は、山脈略南北の方向に連なり、太白聯脈、蘆嶺山脈等ありて、洛東江、錦江の流域を劃り、東西に良平野をなし、北韓地方は地勢複雑にして、山脈は略東西の方向に連り、長白山脈と並行せる妙高山脈、白雲山脈は、半島を横斷して、圖們、鴨綠、清川、大洞江等の流域を限れり、長白山脈の支脈なる大關嶺は、日本海沿岸に近く南走し、太白聯脈に連接して分水界をなし、地を日本海斜面、黃海斜面の二部に分ち、黃海斜面には平野多し。

●氣候 緯度は我本州と略同けれども、沿海は寒流に洗はれ、北部は大陸に連り、其影響を受くるを以て、氣候大に異に

されと三寒
四暖として、
冬は一週間
の内三日寒
くして、四
日暖く、夏
亦涼熱相
人の健康を
保持するに
足ると云ふ

(一)一名ソ
ル(都)と稱
す人口二十
一萬あり
(二)我在留者
二千餘あり

(三)京城を距
る九里馬關
より五百里
あり我在留
者六千餘あり

して寒暑共に酷烈なり、冬は漢江水結し、馬其上を往來す。北部にては冬季積雪尺餘に達し、麥酒、蠶米結の爲め破壊することあり、暑氣亦甚しく、南部にては、炎熱の爲め、蠟燭自然に彎曲することありと云ふ、唯南部沿海のみ稍溫和に、降雪を見ること稀にして、多きも二三寸に過ぎず。

●京畿道 漢江下流の流域を占め、河岸平地多く、舟運便にして此國の中心に當り、最重要なる地なり、京城は漢城と稱す、宮城政府の所在地にして、市の周圍は城壁を繞らし、街衢、狹隘不潔なり、我が居留地には公使館及領事館あり、北は碧蹄嶺を越えて開城に達し、南は水原を経て三南地方に通じ、西は鐵道及漢江によりて仁川に通ず、仁川は京城の咽喉に當り、此國第一の貿易港にして、其埠頭を濟物浦と云ふ、本邦

と取引盛んに我領事館郵便局學校の設けあり、在留者常に多く、其居留地の光景は、本邦内地の市街に異ならず。

●忠清南北道 車嶺山脈殆ど東西に連亘して、地を南北に分つ、北道は漢江の上流地にして、其沿岸に首府忠州あり、南道は主に錦江の流域にして、土地平行、水運の利多く、農産豊なり、成歡牙山は征清の戰場として著名なり、驪山は現時、我邦人の稼行にかよる砂金地なり、公州は其首府にして、京釜鐵道線に當れり、鐵道は此地を過ぎり、北は京城に向ひ、南は秋風嶺を越え、洛東江の流域に出て、釜山に達せんとす。

●全羅南北道 蘆嶺山脈西南より北東に連亘して、南北兩道を分ち、到る處穀産豊なり、北道の首府を全州と稱す、群山浦は錦江の左口に位し、我國人在留す、南道の首府は光洲

(一) 我在留者 四百九十人
(二) 領事館の設けあり

(一) 百濟の舊都なり

にして、其南方榮山江の河口に木浦あり、灣内水深く、許多の島嶼前面に羅列せるを以て自然に良港をなし、此國不凍港の一なり、本港は穀類の輸出を主とし、我國との取引盛に、本邦人在留するもの多し、群山と共に開港場なり。

●慶尙南北道 烏嶺山脈の東南部を占め、洛東江の流域に當り、水運便利にして、此國第一の米産地なり、南道の首府晉州は古の任那の地にして、附近の泗川と共に豊公征韓の古戰場なり、釜山は古來本邦と通商せし所にして、京釜鐵道の起點に當り、港前に絶影島を控へ、港内水深く、船舶の碇繋に便にして、貿易盛なること、仁川に次ぎ、邦人の在留者最も多く、我居留地其西部口にありて、一地域をなし、領事館郵便局、學校、病院等ありて、市街の状況恰も我國の都會に似たり。

(一) 我在留者 九百七十六人
(二) 領事館の設けあり

(一) 馬淵を距る百二十里
(二) 我在留者七千人あり

(一) 我在留者
三百八十八
人領事館
の設あり



朝鮮の村落

其西なる馬山浦も亦
開港場にして、巨濟島
と共に、鎮海灣を抱き
海峽の要地を占め、我
國人居住し、專管居留
地の設けあり。東北隅
なる蔚山は、加藤清正
の籠城を以て聞ゆ、北
道の首府大邱は、南韓
の大都にして、京釜鐵
道線に當れり。東方の
慶州は古新羅の都せ

(一) 馬關を距
る三百八十
人在留者
二千八百
餘人領事
館の設あり

(二) 我領事分
館あり

し所にして、又鐵の産あり。

●江原道 太白山脈全道を縦貫して、東岸は絶壁多く、風景に富み、沿海又明太魚を捕獲すること多し、西部は漢江上流の流域にして、地瘠せられたれども、春川の如きは、漢江運漕の終航地なるを以て、市況稍繁華なり、首府を原洲と云ふ。

●咸鏡南北道 域内山地多く、唯沿海及圖們江畔に狭長なる平地あるのみ、咸興は南道の首府にして、韓帝の祖李成珪の起りし所なり、元山津は此國第三の開港場にして、永興灣内にあり、本邦及ツラジオストク港に對する貿易上の好位地を占め、我在留者多し、輸出品は砂金、穀類、牛皮を主とす。北に文川(鐵)永興砂金の鑛山あり、鏡城は北道の首府にして、南に近年開港せし城津あり、慶興は露國との貿易地にして、

圖門江畔の會寧は加藤清正の遠征せし所なり。沿岸亦明太魚の産あり。

(一) 都以箕子の都
も亦在都
す我在都
二領事館六人
領事館六人
便局あり
(二) 我在留者
四百九十
人領事館五
便局あり

●平安南北道 諸大河の流域頗る廣く、大同江畔に南道の首府平壤あり、此國第二の大都にして、頗る要害の地を占め、近年開市場となれり、此地は當國最古の都會にして、豐公の征韓及日清戦役に其名高し、大同江口に開港場鎮南浦あり。定州は北道の首府なり。滄州は清と陸路貿易地にして、鴨綠江畔に在り、北清に通ずる要路に當れり。本道は林産、鑛産に富み、雲山(金鑛城)、鐵段山(砂金)等の鑛坑あり。

●黃海道 綿山脈東西に連り地を南北に分つ、首府黃州は大豆産地の中央に位し市況稍盛なり、鐵島、漁陰洞は日清戦役にて世に知られ、鐵峴には鐵の産あり。

此國往古は
人文發達し
文物を西邦
に傳へし事
少からざり

●住民 人口六百萬あり、蒙古種に屬し、兩班、常漢、奴隸の階級ありて、尊卑



朝鮮人

の別甚だ嚴なり。性質一般に溫和なれども、懶惰無教育にして、喫烟を好み進取の氣象に乏しく、勤勉貯蓄の念なし。上流社會は儒

教を口にするも躬行することなく、一般の國民は迷信深く、

不時の災害に遭ふときは路傍の一里塚に行きて祈禱をなすを常とす。佛教・基督教は甚だ微々たり。●教育の制は不完全にして、字房と稱する私塾ありて、児童教育を司り、國文は官文書・法律文及上流社會は皆漢文を用ゆるも、民間一般には諺文を用ゆ、近時處々に洋式學校の設立あれども、學習するもの少なし。

●政治 專制政治にして、内務・外務・度支・軍務・法務・學務・農工・商務警務の八部衙門には各大臣を置き、更に各大臣を以て内閣を組織し、其首班に總理大臣ありて、各部大臣と共に國事を處理す。別に宮内部ありて宮室の事を司る、各道には觀察使及郡縣府を置き、又主要の地には府使尹を置き、地方の行政司法を司らしむ。●兵備は親衛隊・侍衛隊・警察隊等の組

織あるも其數一萬に過ぎず、海軍は今猶艦艇の設備なし。

●生業 農業は主要の生業にして、牧畜之に次ぐ、各道より米・豆類・人參を産し、牛・騾・馬・豚・犬の飼養盛なり、中にも犬は其數多く家毎に之を畜ひ、其皮を敷物とし其肉を食す。●鑛産は平安・咸鏡・慶尙諸道より金・砂金を産し、鐵・銅・石炭等鑛脈亦豐なり、近來外人の採掘を企つるもの多し。●林業は濫伐の爲め北部を除く外殆ど是なし。●水産は豊富にして東海岸より鮮明太魚・海參等を産するも、國民漁獲の法を知らず、漁利は悉く本邦人に占有せられ、韓人は却て其供給を仰げり。●工業は未だ進歩せず、日用品は外國の輸入を仰ぎ、僅に紙・陶器・織物の製造あるのみ。●商業は産物少く、貨幣不完全にして、且交通不便なるを以て、未だ盛ならず、都會にても、只定

期の市日に物品の交換あるのみ、貿易は米、豆、生牛皮、砂金を輸出し、金布、紡績糸、石油、金屬器、洋傘、砂糖、摺附木を輸入す、輸出入の年額貳千餘萬圓に達し、過半は本邦と取引す。

京仁(二十
七哩)及京
釜鐵道は本
邦人の經營
するものな
り

●交通 道路險惡にして、車輪を通せず、鐵道は京仁間既に開通し、京釜間は工事中なり、京義間亦敷設の計畫ありと云ふ、航路は漢江、鴨綠江、圖們江に小汽船往來し、諸大河は皆舟楫の便あり、海運は殆ど本邦人の營む所なり、電信は京釜京仁(以上本邦)京義、京元線あり、又國內通信の手段には、今に烽燧を用ゆと云ふ。

●沿革 此國は上古以來本邦と最密接の國にして、晚近始めて韓の獨立たるを認めたるは我帝國なり、爾後歐米諸國我に倣ひて此國と條約を締結したり、明治二十七年我帝國の清と開戦せしも、其獨立を擁護せんが

爲めなりき、然れども韓の國勢微弱にして、他強國の無法を斥くること能はず、故もすれば其權利を侵害せられんとす、故に我帝國は主として韓及清の獨立と領土とを保全し、東洋の平和を維持するを目的とし、兼て此二國に於ける我臣民の生命財產を保護せんが爲め、日英攻守同盟を結び、以て清韓二國扶植の大任に當れり。

二、清 支那 (China)

人口四億凡
日本の九倍
あり

●境域 アシアの東部を占め、東北は朝鮮に隣り、東は海を隔て、本邦に面し、北及西は露領アシアに接し、南は英領インド及佛領インドナに界す、面積凡七十萬方里、本邦の二十六倍ありてアシアの四分の一を占む。

●區劃 行政上直省、外藩に別つ、直省は二十二省あり、其内十八省は支那本部、東三省は滿洲にして、別に新疆の一省あり

（一）日本は七千四百五十里

り、外藩は蒙古青海土伯特なり。

間支那は海岸線一里に付面積何なるや

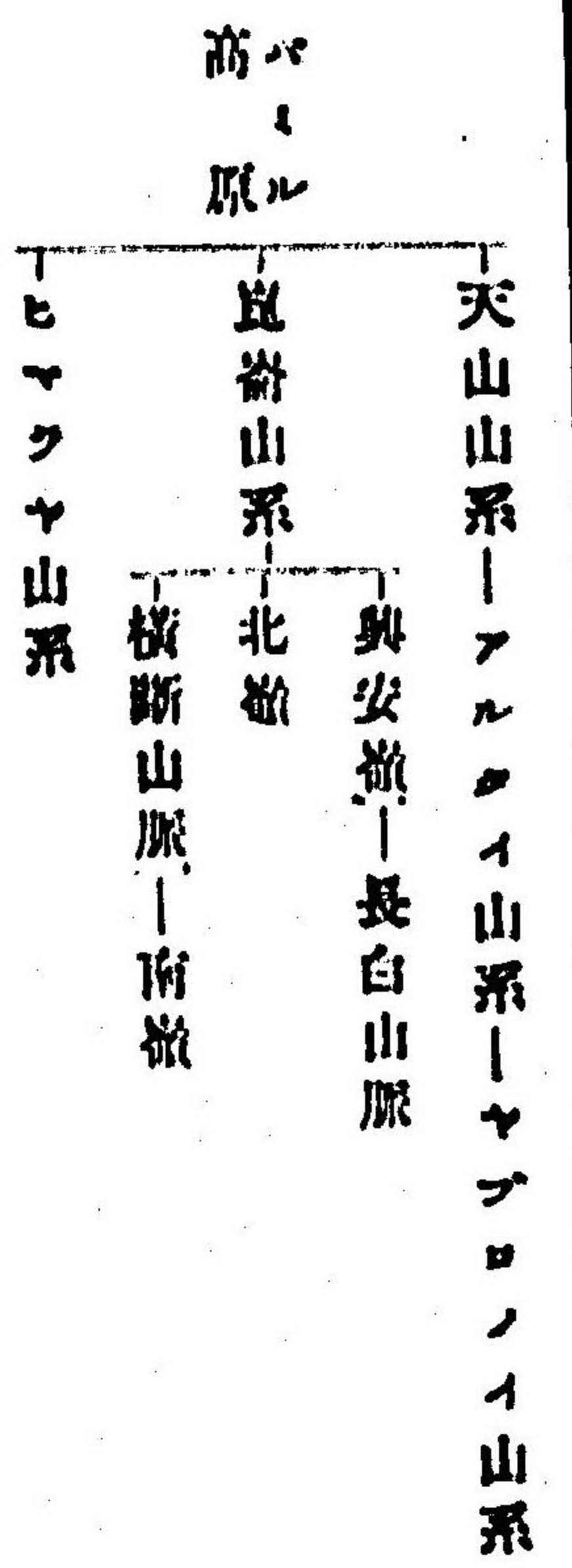
●海岸 支那は面積の廣大なるに比して海岸線短く、凡二千里に過ぎず、之を大別して渤海、黄海、東海、支那海とす、渤海は遼東山東の二半島によりて黄海より分たれ、内に遼東直隸の二灣あり、海岸出入少く海底淺けれども、軍事上通商上共に重要な所なり。●黄海は直隸海峡より楊子江口の間にして北部に大連灣、旅順口、芝罘灣、榮城灣、膠洲灣等の小灣あれども、南部は大抵砂濱にして屈曲少し、廟列島、海洋島等あり。●東海は楊子江口より臺灣海峡の間にして、出入多く寧波、温州、福州等の諸灣、崇明島、舟山列島、廈門島等あり。●支那海は、屈曲に富み、西部に雷州半島突出して東京灣を擁す、其他廣州灣、廣東灣及海南、香港等の諸島あり。

Hongkong

（一）中部アソア又は高地支那と稱す

●地勢 西境パミル高原より數多の山脈分派するを以て、地勢漸次東方に低下し、河流概ね東流す。土伯特、青海、蒙古は高原にして其の中央にゴビ沙漠あり、支那本部、滿洲の沿海及河岸には廣大なる低地多く、其の中部に所謂中原の平地あり。

●山系 ヒマラヤ山系西南境を限り、崑崙山系との間に土伯特高原をなし、天山山系は北に奔走して天山南北路を別つ、アルタイ山系は西北境に限り、ヤブロノイ山系に連れり。崑崙山系は主として支那の地體を構成する主要なる山系にして、土伯特高原の北境に沿ひ、支那本部と蒙古の間を東北に走り、興安嶺となり、長白山脈に連続せり、此支脈、青海地方より分岐して支那本部に入り、楊子江の南北に連貫するものを北嶺及南嶺と稱す、左表の如し。



（一）所により
 金沙江、長江、
 大江の名あり
 り又單に江と
 と稱す長さは
 一千三百里
 アラビア第一
 の巨流なり
 （二）單に河と
 稱す長さは一
 千二百里

●水系 高地支那はアジアの大水源地にして、諸大河四方に流出す、其中東流するものは遠く域内を貫流し、運漕、灌溉の便に富む。殊に揚子江は中流以下大汽船を通じ、漢江及大湖鄖陽湖洞庭湖等も江に入り、運漕、灌溉の利至大にして沿岸に數多の開港場あり、其流域は支那の富源をなせり。

（三）黄河は水勢急にして河床淺く、水運の利少きのみならず、其水黄土を含み、絶へず河床を埋むるを以て河道屢變遷し、洪水の慘害を與ふること甚だ多く古來支那の大患となせり、其下流の地は所謂中原と稱し政治上最も

重要の地なり。●白河は、支流甚だ多く首府に通ずる水道なり。●滿洲の北境に黒龍江あり、松花鳥蘇里の二江之に注ぐ。●南清の大河珠江は、河口に廣大なる三角洲あり、沿岸には數多の開港場ありて利用甚だ多し。

●氣候 沿岸島嶼を除くの外、大陸性氣候にして、寒暑の差甚だしく、殊に滿洲、蒙古、西藏等は寒氣酷烈なり、蒙古、西藏は降雨甚だ少く、支那本部は氣候風を受くるを以て雨量多し、然れども夏秋の候、^{Typhoon}大風の害を蒙ることあり。

支那本部

全國三分の一を占め、人口三億八千萬、國中最重要の地なり、之を大別して直隸、山東、山西、陝西、甘肅（北帶）、四川、雲南（中帶）、貴州、湖北、湖南、安徽、江西、江蘇、浙江、福建、廣東、廣西（南帶）とす。

廣大なる鍊金場あり雲南辟香は本邦人の賞用する所なり。佛人及英人の計畫する鐵道は、東京・緬甸の兩地より將に雲南に達せんとす、蒙自は佛領東京との陸路貿易港なり。

蒙自 Montze 佛領東京 Hongking

○貴州省 南嶺中には清政府の政令を奉せざる苗族と稱する蠻族棲居す、貴陽は省城の地にして省の中央にあり。

湖南省其に古の荆州にして武を稱せらる

湖北省 長江中流の平野を占め土地肥沃にして米・生糸等を産し運輸灌溉の便に富む、武昌は長江の南岸にあり、漢口及漢陽と鼎立し、湖廣總督駐在の地なり、漢口は開港場に

(一)漢陽には有名なる製鐵所あり

(二)日本在留者九十人あり

して長江・漢江の會流點に位し、大船の碇舶に適じ、蘆漢鐵道は信陽に通じ、交通の要衝を占め、支那内地商業の中心にして、貨物集散の盛なること江畔第一とす、茶の輸出最盛なり。

(三)附近の荆州府は戦國楚の都鄙なり

沙市は開港場なり、宜昌も亦開港場にして、長江汽船航路の

人口八十萬

支那本部第一の大湖なり

終點に位し、四川省に入る門口に當れり。

●湖南省 北に洞庭湖あり、南に衡山聳立す、省城の地を長沙と云ふ、岳州は開港場にて、其岳陽樓は景勝を以て名あり。

●江西省 北部に鄱陽湖あり、省内の諸水を集めて楊子江に入る、南昌は省城の地なり、九江は江畔の開港場にして、支那第一の陶器製造地なり、附近に香爐峯の名山あり。

●安徽省 楊子江は中央を貫流し、淮水は北部の諸水を合せて洪澤湖に注ぎ、運漕灌溉の便あり、氣候溫和、地味肥沃、茶に適せり、安慶は省城の地にして、蕪湖は開港場の一なり。

●江蘇省 南は楊子江の河口を占め、大運河南北に貫通し、大湖高郵湖洪澤湖及び之に通ずる河渠縱横に省内を流通して水運甚だ便なり、氣候溫和、地味肥沃にして、米・生糸を産

人口四十萬
 住時規模
 廣大にして
 古來文化風
 流の府なり
 しが長變財
 の兵變に罹
 り大半荒敗
 に歸せり

(一) 兩江とは
 江蘇安徽江
 西の三省を
 云ふ
 (二) 日本在留
 者千五百人
 あり

し、人烟稠密なり。江寧は世に南京(一)と稱し、兩江總督の駐在す
 る所にして、筆紙、絹帛の名産あり。鎮江Chin-kiangは開港場にして、大運
 河と長江の會點にあり、省城蘇州は開港場の一にして、絹帛
 を産す。上海Shanghaiは黃浦江に臨み、其位置東洋貿易の中心市場な
 るに適するを以て、各國の船舶輻湊し、貨物の集散甚だ盛な
 り、輸出品の重なるものは茶生糸にして、輸入品は阿片、金巾
 なり。我總領事館、郵便局等あり、近傍に江南機器局あり、鐵道
 は楊子江岸の吳淞Wusongに通ぜり。

○浙江省 土地平坦、氣候溫和、地味亦肥沃にして、米、茶生糸
 等を産す。省城杭州は開港場にして、錢塘江畔に臨み、大運河
 の起點に當れり。寧波は開港場にして、昔我遣唐使の上陸地
 なりき。温州も亦開港場にして、蜜柑を以て著名なり。

(一) 閩浙とは
 福建浙江兩
 省を云ふ
 (二) 日本在留
 者八百人あ
 り

○福建省 我臺灣島と相對す、閩江の流域に當り、氣候溫暖
 なり。福州は開港場にして、閩浙總督駐在の地なり、附近に馬
 尼船政局あり、三都澳は近年開かれたる開港場なり。廈門Amoyは
 廈門島上にあり、開港場にして、臺灣との往復頻繁なり。

(一) 兩廣とは
 廣東廣西の
 兩省を云ふ

○廣東省 附香港、澳門、地勢山岳多しと雖も、珠江の支流域内
 を貫流し、沿岸平地多く、土地肥沃にして、茶に適し、水運の便
 あり、本省の南部は熱帯に入るを以て、氣候炎熱なり。廣州は
 一名廣東(二)と云ひ、古來外國と通商盛にして、南清貿易の中心
 なり。兩廣總督の駐在地に於て、人民一般に商業に長ぜり、珠
 江には數多の船を浮べ、三十萬の人民河上に住居す。

英領香港は東西交通の要衝に當り、東洋南洋の貿易中心
 市場にして、自由貿易港たるのみならず、英吉利より派遣
 Hong-kong

せる支那艦隊の根據地なり、日本と取引盛にして、我領事館あり、其對岸の九龍附近は、現今英吉利の借領地なり。●
葡領澳門は本邦人のもと阿媽港と稱し、夙に通商を試みし所なりしが、香港の開港以來全く衰微せり。

雷州半島の廣州灣は形勝の地にして、現今佛蘭西の借領地なり、海南島瓊州島の瓊州及東京灣の北海は、共に開港場なり、貿易盛ならず、東方の汕頭も開港場にして、錫器を産す。

●廣西省 南嶺の支脈蟠踞し、平地は僅に西江沿岸にあるのみ、桂林は省城の地にて、梧州、南寧は新開港場なり。

滿洲 東三省

滿洲は奉天、吉林、黒龍の三省に分つ。東に長白山脈あり、西に

遼原は南流にして遼東灣に注ぎ、松花江に注ぎ、遼東灣に入る。黒龍江は北流にして、遼東灣に入る。

一に遼東省に稱す。一に遼東省に稱す。一に遼東省に稱す。



興安嶺連亘し、平地少し、只北流する松花江、南流する遼河の沿岸に稍平野あるのみ、黒龍江は北境を限り、遼東半島は南に突出して、黄海と遼東灣とを別つ、氣候は寒暑共に烈し、殊に冬季長くして、數月間、河水氷結す。

●奉天省 山岳域内に蟠り、平地少く、高粱豆類等を産す。盛京は清朝の舊都にして、周圍に城壁を繞らし、太祖の廟

あり鐵道は南牛莊を経て北京、或は旅順口に達し、北はハルビンに連絡せり、奉天府尹及盛京將軍の駐在地にして、滿洲政治上の中心なり、牛莊は遼河に臨める開港場にして、豆類毛布を輸出し綿布紡績糸等を輸入す、其東南各地は日清戰爭の激戦地にして遼東半島は一旦我領土に歸せし地なり、旅順口は威海衛と共に渤海の門戸を扼し軍事上重要な地にして現今大連灣附近の地と共に露西亞の借領地となり、露國太平洋艦隊の根據地として他國船舶の出入を禁ず、大連灣は開港して其市街にグルニエの名を附せられたり。

人口十萬

●吉林省 松花江の流域に當り地勢北に傾斜せり首都吉林は舟運の便あり吉林將軍此所に駐在す府内に機器局あり、塔子溝は鐵路に當り渾春と共に省内の要地なり。

●黑龍江省 山岳多く平地は河岸にあるのみ、首都爾古、哈爾濱は東清鐵道線に當り黑龍江將軍の駐在地なり、愛輝は黑龍江岸に位し、北境要害の地にして陸路貿易場なり。

蒙古

蒙古は中央に戈壁、瀚海の大沙漠あり、其以南を内蒙古、北を外蒙古と稱す。高原にして、氣候の變化特に甚だし、住民は牧畜を以て主要の生業とし、水草を逐て轉居す、開化の度甚だ低し、庫倫は北境の要鎮にして、庫倫辦事大臣駐在す、喇嘛教盛にして、寺院甚だ壯麗なり、賽買城は北境にありて、露領恰克圖と接し、陸路貿易場にして、茶の輸出盛なり。

新疆省伊犁

(一) 烏魚泉齊とも云ふ交通の要路に當れり

天山南路には塔里木河東流して羅布泊に注ぎ、天山北路は伊犁河の流域に屬し地味肥沃なり、迪化は省城の地なり、伊犁は邊境要害の地にして、伊犁將軍駐在す、喀什噶爾は露領中亞細亞と葉爾羌は印度との交通の要路に當れり。

青海

青海は西事辨事大臣の管治するところなり

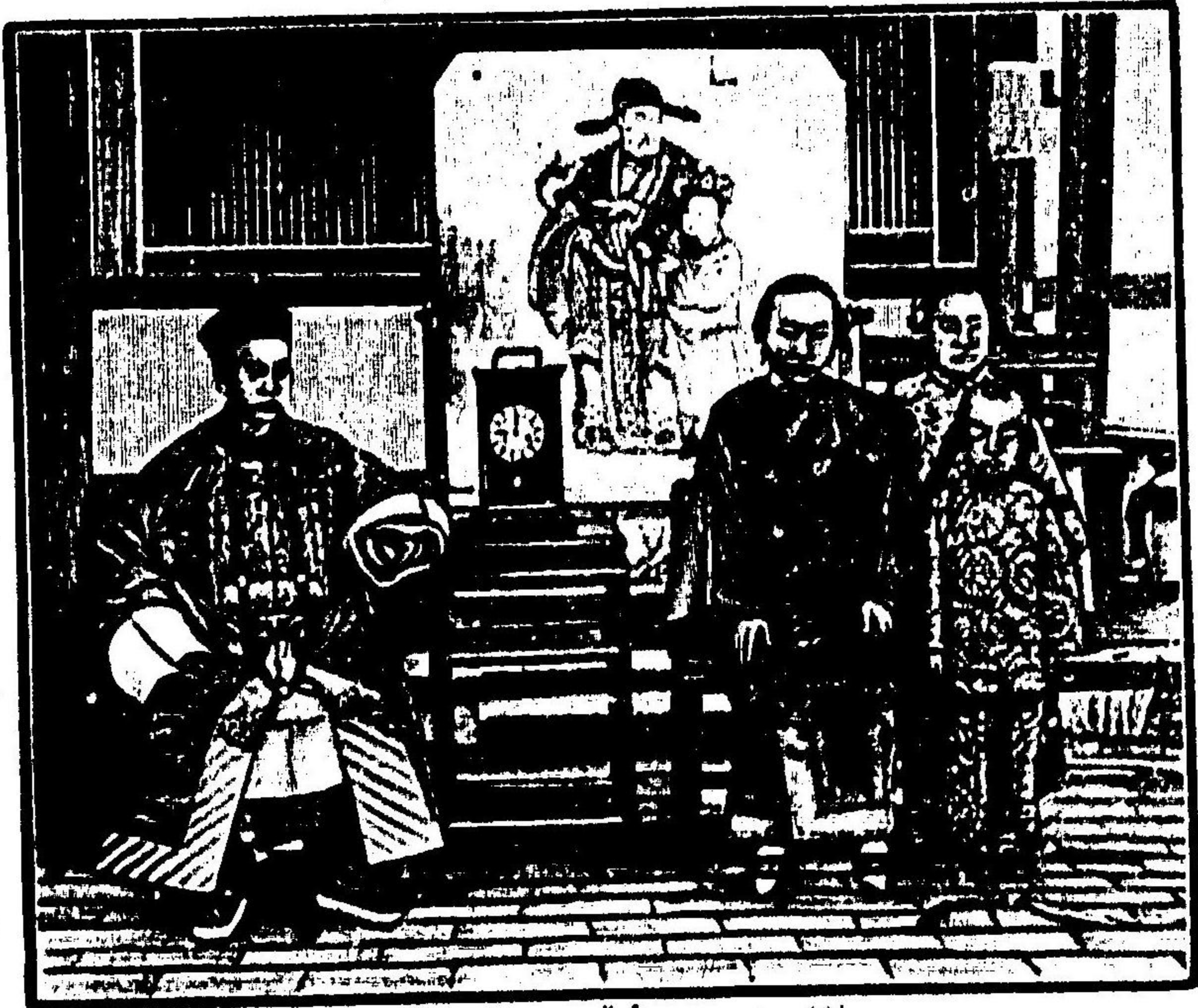
崑崙山系域内に連亘し、黄河楊子江の分水界をなす。東北に青海と稱する鹹湖あり、都色の名あるものなし。

西藏

平均高度一萬五千尺あり

開めて支那を開發したる種族なり

世界第一の高原にして、緯度は我九州南部に等しけれども、地高く且大陸の内部に位するを以て、寒氣凜烈なり、分ちて前藏後藏の二部とす、麝香、犛牛、山羊の名産あり、首都拉薩は喇嘛教法王の住居する所にして、壯麗なる寺院甚多く、駐藏辨事大臣の駐在地にして、商業頗る盛なり、土伯特の内政は法王之を主宰し、唯外交及軍政のみ中央政府の指揮を受く、
●住民 人口凡四億、黄色人種に屬し、漢族、滿洲族、通克斯族、土耳其族、土伯特族、苗族の別あり、就中漢族最多く、初め黄河の流域に居り、漸時苗族を南嶺中に逐ひ、大江、珠江等の流域を占有し、今は本部塞外地方は勿論、海外各地に蔓延せり、性勤儉忍耐にして、蓄財を重し、貨殖に長じ、商業に巧なり、然れとも愛國の念薄く、舊慣古俗を墨守し、改良進取の心乏し、且

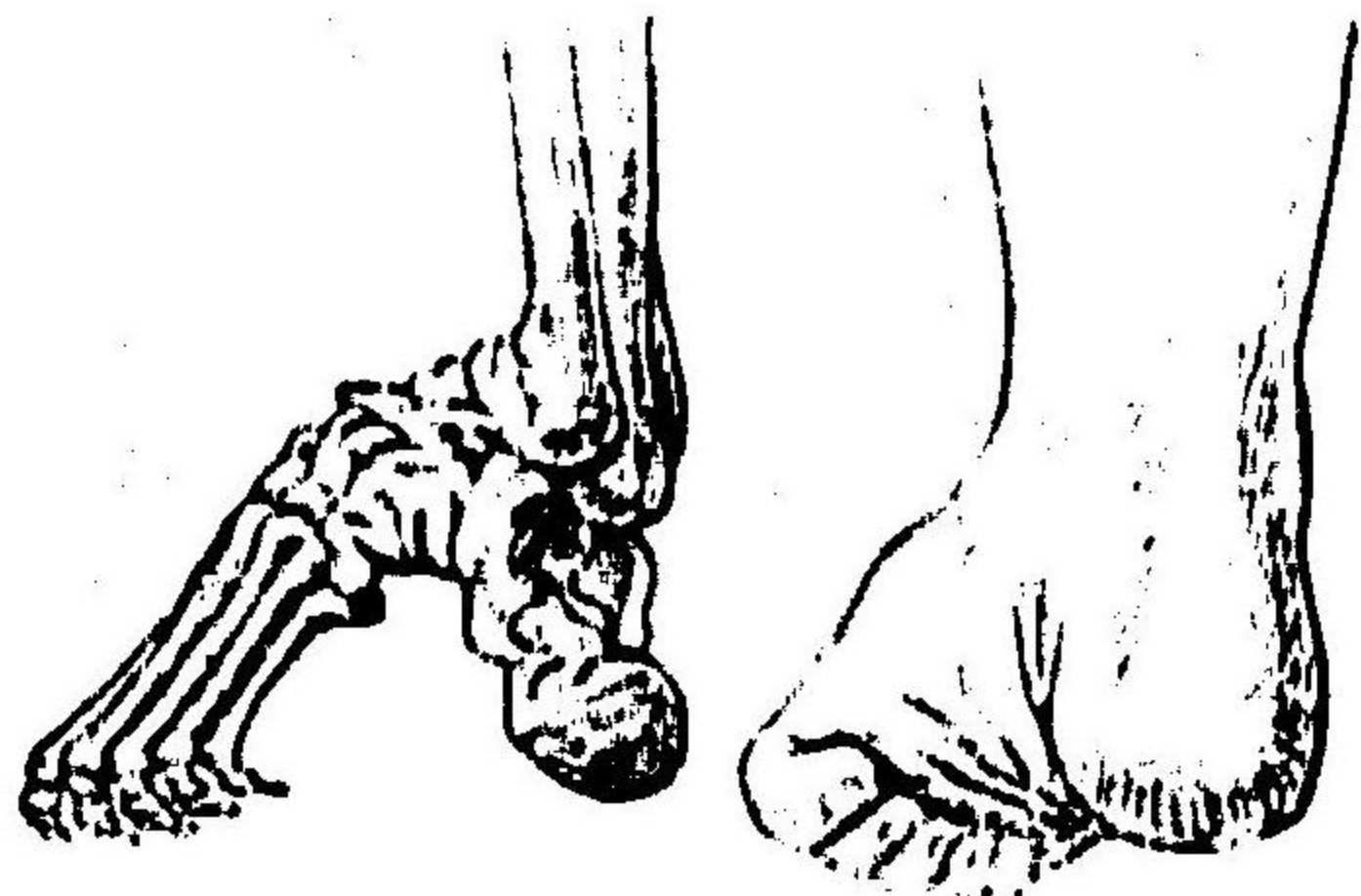


一般に阿片烟を嗜み、
 又女子は幼より纏足
 するの悪弊あり男は
 清朝以來辮髮を垂る
 るに至れり。滿洲族は
 性質慥悍にして、厦南
 方に侵入せり。現朝の
 祖宗是より出づ。今は
 已に本部に入りて、漢
 族と混じり習慣風俗大
 差なきに至れり。
 蒙古族は蒙古青海に住

し、昔は勇猛慥悍にして東ローマを蹂躪し、
 日本をも侵せしが今は無智蒙昧にして昔日
 の雄風なし。土耳其族は古の匈奴にして新疆
 省に移住せしもの亦多し。土伯特族は土伯特
 に住す。苗族は太古土人の遺族にして主に南
 嶺中に棲居し性頑陋なり。

宗教は國教と稱すべきものなく、上流
 の人は儒教を尊び、無學の民は道教或
 は佛教を奉す。滿洲族蒙古族西藏族は

喇嘛教を信し、土耳其族は回教を奉す。基督教は未多數の信
 者を有せず。●教育は國人古來學問を重し、文化を以て著は
 れ、日本朝鮮安南暹羅等の諸國、皆其感化を受けしが近時教
 育衰頹し、學校の設備甚不完全なり。北京に國子監、天津に醫



支那婦人纏足

學校、電信學校等あり、諸省府縣に書院と稱するものあれども、多くは成績の見るべきものなし。近年各省城に大學堂、各府に中學堂、各州縣に小學堂を設置するの舉ありて、教師を日本及西洋諸國より招聘するに至れり。

●政治 政體は君主專制にして、中央政府は軍機所、内閣及吏部、禮部、兵部、工部、外務部、海軍等の衙門あり、軍機所は政治の樞機を掌り、内閣は六部を統ふるも、虚名を有するのみ、此他理藩院、都察院及政務諮詢府等あり、地方制度は一省或は二三省に總督を置き(山東河南山西は置かず)各省に巡撫を置く(直隸四川甘肅を除く)其下に布政使、按察使、道臺、知府、知州、知縣等の諸官あり。

滿州各省には將軍を置き別に奉天府に奉天府尹あり、又戶部兵部刑部の五衙門を置く、蒙古青海は理藩院の支配を受け、各要地に將軍統都辦事大臣

(一) 滿洲八旗
(二) 蒙古八旗
(三) 漢人
(四) 內務府
(五) 兵部
(六) 工部
(七) 刑部
(八) 禮部
(九) 外務部
(十) 海軍部
(十一) 軍機所
(十二) 都察院
(十三) 政務諮詢府
(十四) 巡撫
(十五) 總督
(十六) 布政使
(十七) 按察使
(十八) 道臺
(十九) 知府
(二十) 知州
(二十一) 知縣
(二十二) 將軍
(二十三) 統都辦事大臣
(二十四) 藩台
(二十五) 鹽運使
(二十六) 鹽課使
(二十七) 鹽課大使
(二十八) 鹽課小使
(二十九) 鹽課總辦
(三十) 鹽課副辦
(三十一) 鹽課主簿
(三十二) 鹽課司庫
(三十三) 鹽課巡檢
(三十四) 鹽課巡檢副
(三十五) 鹽課巡檢小
(三十六) 鹽課巡檢副小
(三十七) 鹽課巡檢小副
(三十八) 鹽課巡檢小副小
(三十九) 鹽課巡檢小副小副
(四十) 鹽課巡檢小副小副小
(四十一) 鹽課巡檢小副小副小副
(四十二) 鹽課巡檢小副小副小副小
(四十三) 鹽課巡檢小副小副小副小副
(四十四) 鹽課巡檢小副小副小副小副小
(四十五) 鹽課巡檢小副小副小副小副小副
(四十六) 鹽課巡檢小副小副小副小副小副小
(四十七) 鹽課巡檢小副小副小副小副小副小副
(四十八) 鹽課巡檢小副小副小副小副小副小副小
(四十九) 鹽課巡檢小副小副小副小副小副小副小副
(五十) 鹽課巡檢小副小副小副小副小副小副小副小

を置きて之を統御せしむ、然れども各部落に藩主ありて尙統御の實權を有す、土伯特は駐藏辦事大臣の監督を受けて、喇嘛教法王政務を執行す。

●軍備 完全なる兵制なく、八旗兵、綠旗兵等あれども皆祖先の門閥によりて兵となるを以て、多くは材能訓練を缺けり、只實戦に堪ふるのは練軍と稱し、八旗綠旗兵より選抜して訓練を加へたる兵あるのみ、此他勇兵とて、事あるの時募集したる壯兵あり、海軍は北洋南洋福建廣東の四艦隊に分れとも最も精銳と稱せられし北洋艦隊は往年日清の役に殆んど全滅し、今は只脆弱なる艦艇を残すのみ。

●産業 農は古來國本と稱し、耕作を勉めたる上に、肥沃の地多きを以て、各種の農産甚だ饒かなり、米は中帶南帶に産し、就中江蘇浙江江西湖北湖南より出づるもの良質多量な

滿州土人は貂皮を以て物價の標準となし貨幣に代用す

り。之に反し、北帯及滿洲は水川乏しく、麥、高粱、豆等を産す。蒙古滿洲より人参を出す。茶は生糸と共に輸出品の主なるものにして、中帯南帯に産し、福建、浙江、安徽を最とす。紅茶、綠茶、磚茶等の種類あり。桑樹も亦主に中、南帯に適し、湖北、江蘇、浙江、福建、廣東諸省、其中心に當り、從て生糸、絹は夙に西洋市場に名高し。又山東省には盛に絹綢を製す。綿は中帯に産す。殊に江花、浙花の名高し。砂糖は南帯に産し、特に廣東を主とす。阿片は近時輸入を防ぐ爲め各省に栽培し、雲南、四川、滿洲等多く産出す。●畜産は豚の飼養盛に各地に行はれ、國人甚之を賞味す。蒙古、青海地方は牧畜を以て、主要なる生業とし、馬、駱駝を産す。此他青海、土伯特の犁牛、滿洲の騾、直隸の驢等産出多し。又滿洲は虎、熊、貂等(一)の毛皮、雲南、土伯特は麝香を産

するを以て名高し。漁業は未發達せず、海産物は概ね日本より輸入を仰げり。●鑛産は石炭、鐵の埋藏極めて多く、直隸、山西、四川、雲南の石炭は無盡藏と稱せらるれども、僅に開平、炭坑外數所の採掘あるのみ。鐵も亦直隸、山西、湖南、四川の諸省、豐なれども、採掘法幼稚なるが故に、産額未だ多からず。滿洲、西藏は多少の金銀を産す。四川省の鹽井、鹽泉は古來有名にして、多量の食鹽を産す。其他各地に錫、鉛、水銀、琥珀等の産あり。●工業は手藝に巧にして、陶磁器、絹布、繡、縫、彫刻、抄紙等は古來巧妙と稱せられ、其法を日本、朝鮮等の諸國に傳へたり。然れども、蒸氣、電氣の力を利用する、大工業は未發達せず。近時上海の紡績業、漢陽の製鐵場等稍見るべきものあるに過ぎず。内地商業は貨幣及金融、交通の機關不完全なる等、種々

生糸縮織物	50,000,000	綿布	75,000,000
茶	15,000,000	阿片	80,000,000
花類	10,000,000	石油	14,000,000
豆類	5,000,000	石米	11,000,000
		金類	10,000,000
輸出		輸入	
一兩は凡我			
四四十錢			
開支那の			
開港場及開			
市場を掛け			

の隙密あるが爲に、未だ發達せず。外國貿易は開港場及開市の隙密あるが爲に、未だ發達せず。外國貿易は開港場及開市場にて行はれ、香港、英吉利、日本、北米、合衆國、インド、ロシア等と取引最も盛に、輸出額は凡一億六千萬兩にして、其主なるものは生糸、織物、茶、綿花、豆類等なり。輸入品は綿布、阿片、石油、米、金屬類等にして、其額凡二億兩に達し、毎に輸入超過せり。要するに生糸を賣りて綿布を買ひ、茶を賣りて阿片を買ふものと云ふべし。日本へは油、糲、綿、豆、砂糖、卵等を輸出し、綿糸、石炭、燐寸、海産物、卷煙草等を輸入す。其輸入額は年々増加の傾あり。

●交通 道路は一般に不完全なり、殊に南部は舟運を恃み陸路を顧みざるを以て、甚悪し。北部は水運の便少きを以て稍發達し、僻地も猶車道を通じ、馬車、輪馬、一輪車等を用ゆ。

(一) ロシア敷
設権を有す

(二) 白耳義會
社敷設権を
有す



車と人

鐵道は未普及せず、其主なるものは、北清鐵道、東清鐵道、蘆漢鐵道等とす。北清鐵道は北京より天津、山海關を経て營口に至り、東清鐵道は西伯利亞より齊々哈爾、哈拉濱等を経てウスリ線に連絡し、其南線は哈拉濱より分れ、奉天、金州等を経て、旅順口に達せり。蘆漢鐵道は北京より漢口に

(一) 獨逸の敷設權

(二) 米國の敷設權
(三) 英獨共同敷設權
(四) 英國の敷設權

至るものにして、既に保定を経て、正定に通じ、南部は漢口より信陽に開通せり。又山東鐵道は膠州より、濟南に至るものにして、一部は既に開通し、上海吳淞間の滬滬鐵道も亦既成せり。此他、粵漢鐵道、津鎮鐵道、九龍鐵道等あれども、皆未成線なり。水路は楊子江、黃河、白河、珠江、黑龍江、松花江等航行の便あり、且大運河及其支線縱横に通ずるを以て、内地水路の交通甚發達し、我大阪商船會社の船舶、上海より宜昌間に定期航行をなせり、沿海航路も亦甚發達し、香港、上海、天津は各地方の中心に當り、官設招商局を首め、我郵船會社、大阪商船會社及諸外國の會社航路を各港間に有し、運漕の利多くは外人に占めらる。郵便は各開港場等の要地に設置せる官立郵便局の外は、大抵私設の信局にて、信書の遞送に従事す。電信

は支那の交通機關中最發達せるものにして、北京を中心として、西は天山南路より東は朝鮮に通じ、南廣東を経て安南に至り、北滿洲を経て歐羅巴に達す。海底電線は上海より長崎、香港、シンガポールに連絡し、又福州より淡水に達す。

●沿革 支那は世界最舊國の一にして、首として東洋文明の中心となり、常に四隣の諸國を指導し、日本、朝鮮、安南、暹羅、緬甸等皆其威化を受けたり、然れども歴代興亡相踵き、國號を改めたり、現朝は姓を受親覺羅と云ひ、凡二百七十年前滿洲より起り、都を北京に建てたりしが、其後二百年を経て、阿片事件より英吉利と戦端を開き、遂に香港島を割讓し、五港(廣州、厦門、汕頭、上海、香港)を開きて和を講せり。尋て長髮賊の亂に際し、再び英吉利及佛蘭西と戦争を開き、英佛聯合軍の爲めに北京を陥れられ、清帝難を熱河に避け、償金開港を約し、和を講せり。此時露西亞は調停の勞を取りたる報酬として、烏蘇里江東の地を割讓せり。明治二十七年に至り、朝鮮事件より日本と干戈を交へ、連戦連敗し、遂に償金割地開港を以て講和せり。此戦争は支那の國

遂に一大打撃を加へ爾來歐洲諸國種々の要求をなし遂に膠州灣旅順口・威海衛廣州灣を諸外國に貸與し、又鐵道敷設權嶺山探掘權を與ふる等、國民の排外心を激せしを以て、義和團の徒亂を起し、各國公使重圍に陥る。是に於て、本邦を首め、英佛獨露埃以米等の諸列強軍を派して、天津北京を陥れ償金謝罪商利を承諾せしめ和を講せり。爾後國勢益振はず、列強國之に乗じて、或は自己の勢力範圍を劃せんとし、或は兵を屯し、地を分割せんと計る等、殆んど事無きを以て、我大日本帝國は清國の保全を危み、英吉利と同盟を結びて、清の獨立と領土を保全し、東洋の平和を維持するを目的とし、兼て此國に於ける我臣民の生命財產を保護し、以て此國扶植の大任に當れり。

三、アジアロシア (Asiatic Russia)

アジアの北部を占むる廣大の地にして、悉くロシアに屬し、三大部に分かたる、シベリア・ロシア領中アジア・カフカス是

Siberia

Central Asia

Caucasus

れなり。

イ、シベリア (Siberia)

人口五百萬

●**境域** シベリアは、支那の北にありて、北方は北極洋に臨み、西はウラル山脈を以てヨーロッパと境をなせり、其面積八十萬方里にして支那全國よりも廣し。

●**地勢** レナ河口よりバルハシ湖に一線を引かば、其東南は高山連亘せる高地にして、西北は渺茫たる大平原なり、是所謂シベリア大平原にして、北極洋に向て漸次緩斜せり。東南高地より、大平原を北流して北極洋に注ぐオビ・エニセイ・レナの三大河あり、又スタノボイ山脈より東流してオホーシク海に入る黒龍江あり、共に八百里以上の長流にして、下

流汽船を通ずれとも、冬季氷結するを以て舟楫の便少し。

●氣候 レペリアは高緯度にあるが故に寒冷なるのみならず、東南に山脈連亘するを以て、温暖なる南風を遮り、北は一面打開けて北極洋より寒風を吹き送るが故に氣候寒冷なり、殊に北緯六十度以北の寒帯地方は凍土帯と稱し凍結す、只夏氣に於て表面僅かに融解して沼澤を生ず、されば此地方は蘚苔の類を生ずるのみ、之れより以南五十五度迄の温帯には、森林繁茂せり、是を森林帯と稱す、森林帯以南の地は、植物腐敗より成れる黒土地方にして曠野帯と稱し、地味肥沃なり。

●産物 凍土帯には馴鹿、白熊、白狐、水禽等を産し、殊に土中に埋没せられたるマンモス獣の象牙を出す、又ペーリング

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. Coast Territory | 5. Irkutsk |
| 2. Yakutsk | 6. Yeniseisk |
| 3. Amur | 7. Tomsk |
| 4. Trans Baikal | 8. Tboosk |

海には鯨、鰵、虎、膾、肭、獸、オホーック海には昆布を産す。森林帯には樅、樟、落葉松等の良材多く、黒貂、熊、狐等を産す。曠野帯には麻、小麥等の農産豊にして、豚、綿、羊、牛、馬等の牧畜盛なり、高地には金、銀、鉛、石炭等又ウラル山には白金、金を多く産せり。

●區劃 八州に分つ、沿海州は本邦と密接の關係を有せり、カラフト島は面積本邦の四國九州を合せたるものに等しく、全島密材を以て掩はれ、鳥獸、石炭に富み、河海よりは鮭、貝類、海藻等夥しく産す、住民は一萬五千ありて、露國人、アイヌ人及本邦人なり、南端にあるコルサコフは重要の港にして、

Korsakov

新潟及函館と定期の航海あり、韃靼海峡を隔て、ムカラフト島と相對する地をウスリ地方と云ふ、是れ黒龍江と其支流ウスリ河、豆滿江以内の地にして、其南端にペテロ大帝灣あり

Dent

り、海内のウラチボストク港は露國の東洋に出づる門戸にして、Vladivostokレベリア鐵道の終點に當り軍港及貿易港を兼ね、陸には砲臺及コサツク兵を配置し、海には露國東洋艦隊、義勇艦隊を碇泊せしめ、守備甚だ嚴なり、此港は人口僅かに一萬五千の小市なれども、露國爰に力を用ゐたれば、政廳、兵營、會社等壯大の建築物ありて、貿易も年々盛大に趣き、日清獨等の居留民多し、冬季は氷結すれども、截氷器に依りて船艦の出入自在なり、敦賀より五百海里ありて、本邦より麥粉、醬油、酒、茶等を輸出し、牛骨、干鱗を輸出せり。

カムチアツカ半島は火山に富みて、數尺の雜草繁茂せる高原Kamtschatka多く、沿海は、極めて水産に富む、東南岸のピートルバプロブPeterpavlovskスクは、夏時に繁昌する港なり。

チクチ半島は矮樹、蘚苔を生ずるのみなれば、住民は馴鹿を飼養し、橋を引か、しめ狩獵に従事せり。



人土アリベレ

●都府及交通
レベリア大鐵道はレベリアの西境Khabarovskクツクより起り、オムスク及OmskクウスノヤルKrasnoyarsk

ク等を経てイルクツクに達し、バイカル湖の南岸を廻り、更

に進んで黒龍江の左岸に沿ひ、Blagoveshchenskを過ぎ
て、Khabarovkaに達しウスリ河に沿ひて、終にウラザゴスト
Diadrostokに達する延長千三百里工費三億圓を要するものなり、然
れどもバイカル湖南岸と、ストレンナンスクの間は工事困難
なるにより、別に支線をナタ附近より分岐し、滿洲を経てウ
ラザゴストク港又は旅順口に至る東清鐵道を敷設せり、今
や此鐵道殆ど完成し、本邦の教習よりウラザゴストク港
に至り、東清鐵道を経レベリア線に移り、Moscowに至るに
は二十日間を以て達すべく、更に進んで歐洲の大都會に達
し得るに至れり、實に此鐵道は將來本邦の商業上、軍事上、農
業上に大影響を與ふるものと云ふべし、其他黒龍江河口に
近きニコライエフスク府オホツク海に面するオホツク港レナ
ニコラエフク

河沿岸のヤクツク府等あれども人口五萬に達するもの一も
なし。
Yakutsk

●住民 蒙古人種に屬する土人と、露國人とにして、露政府
熱心に移住を奨励し、且犯罪人を此地に追放して、人口の増
殖を圖りしかば、今や五百萬に達せり、然れども土地の面積
に比すれば人口稀少なり。

●政治 西は露西亞内務省の直轄に屬し、東は黒龍江東部
の二總督管區に分たれ、其下に知事を置きて管理せしむ。

ロ、ロシア領中アジア (Central Asia)

ロシア領中アジアはレベリアの西南にありて、其面積本邦
に四倍し人口七百八拾萬あり。

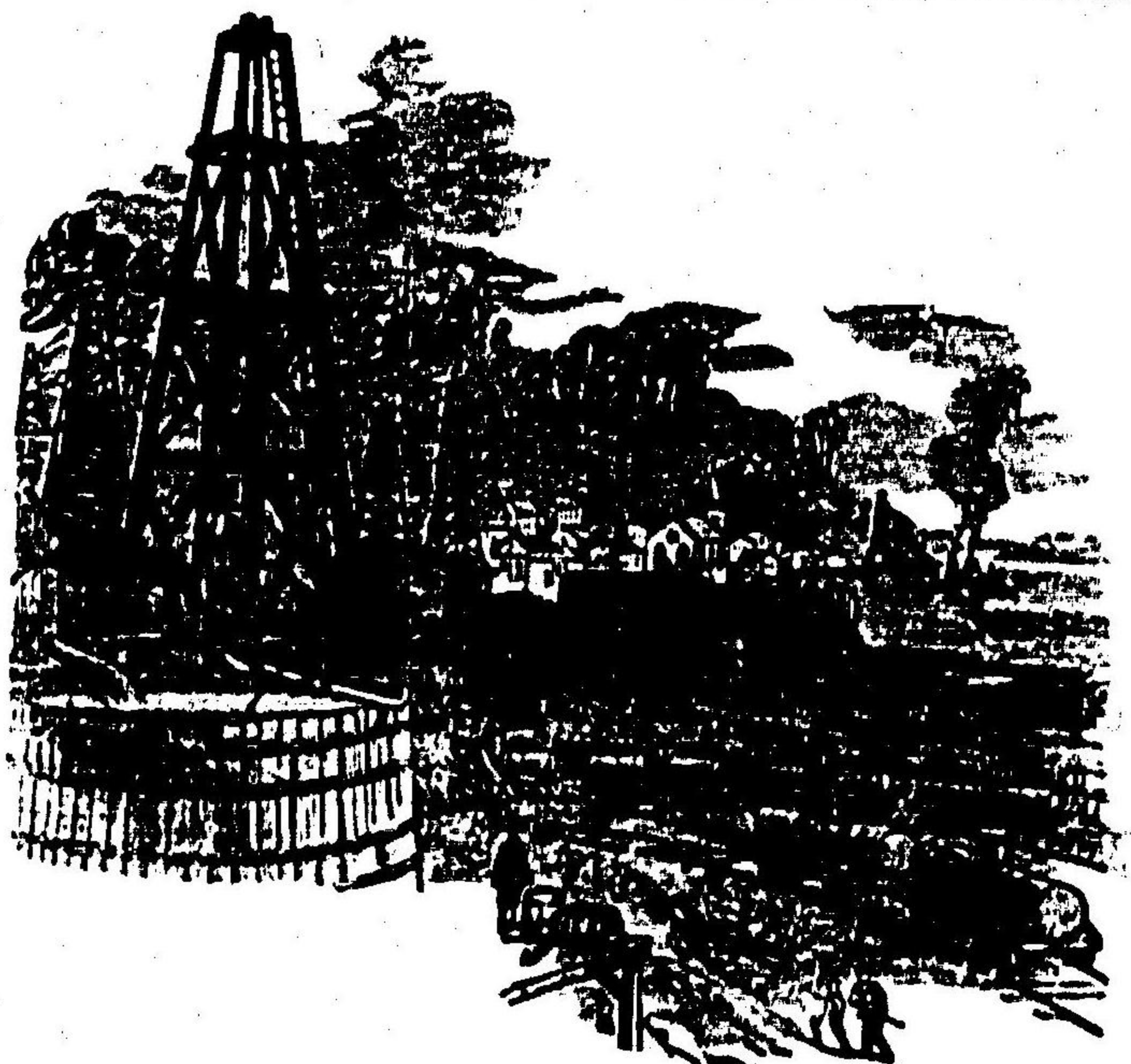
パミル高原は、東は支那と接し、南は印度を瞰下する形勝の地なるを以て、屢露滄及霹英間に葛藤を起せしが今や遂にロシアに属したり。此パミル高原及支那の境より地勢西に向て漸次に低く、カスピ海岸に至りては海面下八十尺の低地となれり、カスピ海は面積二萬餘方里世界第一の大湖にして塩分を含有すること少きも、猶蒸發甚しきを以て漸々乾涸しつゝあり、其他バルハレ湖、アラル湖等の鹹湖多く、アラル湖には、*Amu Paria* *Sir Paria* 河の二内地灌域河ありて注流せり、氣候は寒暑の差甚だしく雨量少し、域内を二部に分ち、北半をキルギスと云ふ、南半をトルキスタンと云ふ、トルキスタンの中央にボカラあり、住民は蒙古人種の韃靼人種に屬し、水草を逐ふて漂泊する遊牧の民多くして、宗教は回教を奉

せり、物産は馬・牛・羊・駱駝等なり。

トルキスタンの首府をタシケントと云ひ、人口十三萬露國のトルキスタン總督駐在せり、其南にあるサマルカンドは昔時帖木兒の都せし處にして有名なり、ボカラの首府をボカラと云ふ、トランスカスピ鐵道はカスピ海岸より起りてボカラを経て、サマルカンドに通じ支那の境に至れり。

ハ、カプカス (Caucasia)

カスピ海と黒海との間にありて、カプカス山脈中央に横はり南北二部に分かたる、北はヨーロッパに屬し南はアジアに屬せり、其面積殆んど本邦に等しく、人口一千万に近し、住民はカプカス人種にして容貌秀麗なるを以て名高く、農業は



其主なる職業なり、首府をチフリスと云ひ、^{TRIFLIS}カフカス總督駐在せり、鐵道は黒海岸より、^カのカスビ海岸に貫通し、^ク其他歐洲に通せり、^石カスビ海岸のバクは石油の産出を以て名高く、本邦にも多く輸出せり。

四、アジアトルコ (Turkey in Asia)

東及北はヘルシア・カフカス、南は亞刺比亞に境す、面積本邦に四倍し、人口二千二百萬あり、全國を五大部に分つ、歴史上著名なる所多し。

小アジアは半島をなし西に突出して、地中海・黒海を分ち、其

Asia Minor

Black Sea

間のマルモラ海を隔て、歐羅巴トルコと相對す、マルモラ

Marmora

海の東口はボスボロス海峡にして、西口をダルダネル海峡

Bosphorus

Dardanelis

と云ふ、西方の沿海には島嶼多く散在せり、之を多島海と稱

す又南海岸のサイプロス島は英國に屬せり内地は山岳に

Cyprus

富み鹽湖及沙漠多し、氣候炎熱にして降雨少きも、西部及北

部は地稍低く豊饒にして橄欖、烟草、綿等を産す、西部のスマ

Smyna

ルナはアジアトルコ第一の都會にして、トラペズンドは黒

Trapezond

海岸の要港なり。

炎熱にして降雨甚だ少し、馬及腹膜は著名の産物にして、駱駝は沙漠の舟と稱し、土人行商に缺くべからざるものなり。
アデンは、英國に屬し、其港は東西洋船舶の寄港する所なり、
 又**オーマン**王國は、ヘルンヤ灣に臨み、土地豊饒にして、
 カットは其首府なり、眞珠貝の産を以て名高し。

六、イラン地方 (Iran)

エルブルーズ・ヒンズーク・スレイマンの諸山系を以て限られたる高原をイラン地方と稱し、三國に分たる。

イ、ペルシア (Persia)

ペルシア王國は、イラン高原の西部にありて、北はカスピ海

南はペルシア灣に臨めり、面積本邦の四倍にして、人口九百萬あり。

地勢は、北にエルブルーズ山脈、南に諸山脈ありて、大鹽沙漠を包めり、氣候は、土地高きを以て、空氣乾燥し、雨量に乏しく、寒暑の差甚し、産物は、米穀、烟草、綿、甘蔗を産し、蠶業盛にして、生糸、絹布を輸出す。又馬、羊、駱駝等の牧養盛に行はれ、肩掛絨氈の製造著名なり、其他獅子、虎、象等を産す。

首府をテヘランと稱し、エルブルーズ山脈の南麓にありて、

壯麗の王宮あり、夏は酷暑にして住居に堪へざるを以て、住民はカスピ海の岸に避暑し、市街寂寥を極む。イスバハンは此國の舊都なり、又ペルンヤ灣なるブレイル港は重要な貿易港なり。



ル王帖木兒等に征せられ、國勢次第に衰へ、僅に現今の版圖

住民はアリヤン種族
及アフビヤ種族なり、
前者は文學を好み音
樂を嗜めとも、後者は
遊牧の民なり、一般に
回教を奉ず、政體は君
主專制にして各州に
總督を置き、兵備甚だ
微弱なり、此國は昔て
メルンヤ大帝國を建
てしが、アレキサンド

を保つに至れり。

ロ、アフガニスタン (Afghanistan)

面積殆と本邦に二倍し、人口五百萬あり、地勢は北にヒンツ
ークン山脈連亘し東はスレイマン山脈横はれり、氣候は土
地甚だ高くして、雨量乏しく、人口稀少なるを以て荒地多し。
首府カブールは、交通の要路に當り、市街繁盛なり、カンダハ
ルは、肩掛絨氈製造及染業に巧なり。
産物は米、麥、玉蜀黍等を産し、乾燥地には、桃、林檎、杏等を産す、
輸出品は、肩掛絨氈にして、輸入品は雜貨、木綿等なり。
住民は、大抵カブカス人種にして、多くの部落に分れ、各部に
酋長ありて、宗教は回教を信奉せり、政體は君主專制にして

東をコルカタ
Calcutta
ベンガル西と
P. Bengal
の
海岸と云ふ

(一)熱三月よ
り六月温六
月より十月
乾十月より
三月まで

なりデカン高原は三面山脈を以て圍繞し、殆んど三角形を
なす高さ凡二千尺あり、其黒土はよく綿の栽培に適す、東西
の沿岸亦肥沃にして米穀、阿片、甘蔗の産あり。

●水系 河流の大なるもの三ありインドス・ガンガ・ブラマ
プートラとすインドス河は土伯特に發しヒマラヤ山系を
横断して西部平野を潤ふし、ガンガ河は源をヒマラヤ山系
に發してインド平野を灌溉し、下流十數派に分れブラマプ
ートラ河と共に大三角洲を作る、湖沼の稱すべきものなし。

●氣候 錫蘭の熱帯地よりヒマラヤの雪線に至ると、西部
沙漠に接するるとによりて異なれども、大要温乾熱の三季に
分る、熱季は熱さ烈しく温季は西南氣候風の影響により降
雨多きこと世界第一なり、乾季は東北氣候風の爲に雨量甚

印度の倫敦
と稱せらる

府のガヤは
Gaya
釋迦の生地
として知ら
る

(一)年中春の
如し

(二)人口八十
萬名の島
上にあり

少し。

●都邑

カルカッタはインド第一の都會にして、インド總督

の駐在所なり市街は壯麗にして土地温潤に過ぎ氣候及飲

料水は不良なるを以て、流行病の繁殖地として知らる麻阿

片、米、藍等を主なる輸出品とす、パトナはガンガ河の右岸に

あり、ベナレスは左岸にあり、パワロン教徒の聖地にして數

多の寺院あり、デリーは往古回教國の都にして今に繁華な

り、ラホールは西北交通の要地なり、スリナガルはカシムル

によりて肩掛及羊毛の特産あり、氣候温和風景亦佳なり、パ

レヤワールは軍事上の要地なり、カワチは附近に産する小

麥の輸出港なり、ボンベイは對岸に有名なる綿産地を控へ

紡績業盛なり、海港は船舶の碇繋に便なるを以て内外の貨

（一）毎日一回
宛本邦と發
着航通
（二）島内は清
涼にして夏
季印度より
來遊者多し
又釋迦布敷
の遺跡多し

總人口の七
割を占む

物此に集り東方諸國との取引最盛なり、イギリス領インド
は商業上の中心なり、本邦紡績系の原料亦多く此地に仰く
爲に我郵船會社の孟買線の便あり、コロンゴは東西交通の
衝に當り、錫蘭島の首府なり、附近金剛石及眞珠の産に名高
し、マドラスはコロマンデル海岸に於ける主要の都會なり、
東岸のゴンザレニエリはフランス領の首府にして西岸ゴア
はポルナガル領の首府なり。

●住民 アリヤン種、ドラヅ、ゲアン種は、其主なるもの
にてアリヤン種は北部の大平原に多く體軀偉大強健にして、
皮膚赭黒色を帯び多くは農を營む、ドラヅ、ゲアン種は其
次に位しデカン高原に住す、此國の人民には僧族、兵族、農商
族、賤民の四階級あり其間互に交際を結ばず婚嫁せず、其制

甚だ嚴なり近世に至りイギリス・フランス・ポルナガル等の



歐人侵入して
漸々政柄を掌
印握するに至れ
り。

●宗教 婆羅

門教はアリヤ
ン種に信奉せ
られ、其數最も

多く次は回教にして、佛教は起源の地なれども其勢力微弱
にして、信徒僅に十分の一に充たず、錫蘭島民は猶之を尊奉
し、無數の伽藍今に舊觀を改めず、近年基督教入りしも其數

僅少なり ●教育は英國の銳意其普及を圖るに拘らず、猶讀み書きを能くするもの少し。

カルカッタに駐在す

●政治 英國王は印度皇帝を兼ね、其任命せる印度總督は萬般の政務を統轄し、地方を直轄部、藩部に分ち直轄部には知事副知事或は代官を置き、藩部には今も猶藩王酋長等の自治に任せ、總督派遣の駐在官政務を監す、軍備は十五萬の土人兵と十萬餘の英國派遣兵と外に東印度艦隊あり。

(一)輸出額の九割以上を占む

●生業 土地廣大、地味肥沃、氣候炎熱、降雨多量なるを以て、甚だ天産に富み珍奇なる生物多し、林産は各地の山中に森林よく茂り中にもナーク樹及巨大なる榕樹等有名なり、農産亦夥しく米穀、綿花、阿片、甘蔗、藍、茶、麻等の産あり、動物には獅子、虎を始め象、豹、犀、水牛及び鱷、魚、毒蛇等あり、礦物はデカ

ン高原に鐵、石炭、金剛石、金、銀等を出す、商業は各地に年市を開き、中アジア諸邦及びベルンヤ等と取引し、又各港に於て英國、支那、日本等と貿易盛なり、輸出品は綿花、米穀、阿片、藍、獸皮、砂糖、麻等にして輸入品は綿布、金屬類、石油、綿糸、毛織物等なり、我國へは綿花、米、藍等を輸出し、石炭、銅、絹布等を輸入せり。

●交通 英領に歸してより道路、運河大に發達し、鐵道、電信は甚だ進歩して、總延長二萬五千哩に達し、各地を連れ、殊に電信は諸外國に通ぜり。

附ネポール及ブータン

ネポール、ブータン共にヒマラヤ山系中にある狭長なる、獨

人口七萬
を有す海抜
の四千四百尺
の高所にあり
海抜千八百
尺の地にあり

立國なりネポールは王國にして首府をカトマンヅと稱す、
ブータンは宗教長之を管治すブナカは其首府なり。

●沿革 此國は四五千年前の開國にして世界の舊國なれども國內一致
を缺きしと、屬外人の爲めに侵略を蒙りしとにより進歩を見ざりき、之れ
國民自治の精神に乏しきに歸するものにて、紀元前五百年ヘルンア王の
爲めに征せられ、其後復ギリシアのアレキサンデル王に服し紀元七百年
代回教及帖木兒の大兵を蒙れり、歐人の始めて此國に移住せしは、十五世
紀末にしてホルトガル、オランダ、フランス、イギリス等の人民相尋で來り、
互に貿易を營みしも、十九世紀に至り、終にイギリスの實庫となれり。

八 インドシナ (Indo China)

印度支那はアジアの東南に突出せる大半島にして、西及東
はベンガル灣支那海に臨み、南にはマライ半島突出し、大部

熱帯に屬す。緬甸、暹羅、海峽殖民地、佛領印度支那に分る總面
積八十二萬方里、人口三千五百萬あり。地勢海岸出入多く、東
に東京灣、暹羅灣あり、西にマルダバンの灣入あり、内地は横
斷山脈の餘派縦貫して南北に並走し、河流其間に流れ、河口
に沃野を成し、世界無比の米産地にして、所謂南京米と稱す
る者、多くは此地方の産なり。
土地大部は熱帯に位し、氣候風の影響を受け、濕氣多く、且炎
熱烈しく、惡疫流行すること屢なり、されどマライ半島は海
風の調和を得るを以て、シンガポールの如きは世界稀有の
健康地たり。
Singapore

イビルマ (Burma)

●境域 英領印度の一部にして上下二部に分る面積本邦より少しく大なり、イラワヂサルウィン河の灌漑地は、地味肥沃にして生物の發育に適し、米・ナーク樹・象・虎・犀等の産あり。主要なる輸出品は米・ナーク材とす。

上ビルマの首府マンダレMandalayはビルマ王國の舊都にして市街殷賑なりしが其繁華漸次ラングーンRangoonに移れり、ラングーンは下ビルマの首府にしてイラワヂ河畔にある良港なり、所謂ラングーン米の輸出地にしてマンダレと汽車・汽船の便を有す。

(一)河口を溯ること十一里餘

ロシヤム (Siam)

●境域 印度支那半島の中央に位し、獨立の王國にして面

人口三十萬と超ゆ



積四萬餘方里あり地勢は東北西の三面山岳を繞らし中央にメナム河Mekong南走し下流は沃野遠く連り、米の産地なり、氣候亦佳良にして胡椒・ナーク樹等繁茂し其輸出盛なり。

象と人

首府バンコクBangkokはメナム河畔に位し、市民の住居は陸上と河上とに分れ、

佛閣宮殿等は壯麗を極め、商業盛なり、我居留者多く、公使館

領事館の設あり、鐵道は河口の**パクナム**に通じ、上流は**アユチア**を経て東北の**コラト**に達す。

●物産 米は品質劣れども、年二回の收穫ありて、輸出品總價格の八割を占め、我市場にも上る。胡椒・ゴム・黄蠟・ナーク材・島木・紫檀・象牙等亦輸出品たり、輸入品は綿布類・綿糸・織物等多く我國より燐寸・陶器・洋傘・阿波縮等を輸入す。

●政治 君主專制にして、王族甚だ權力あり、大抵内閣各部の長となる、兵備は微弱にして一萬餘の常備軍と十數隻の小軍艦より成れる海軍あるのみ。

●沿革 昔我商人の私に渡航せし者多く日本町を設けしことあり、山田長政の如きは國王を佐けて封侯を得たりき、徳川時代始めて國際上の交通を開き一旦中絶せしが明治二十一年我と修好條約を結び漸次交通頻繁となれり。

ハ、海峡殖民地 (Strait Settlements)

●境域 **シンガポール**・**ペナン**の二島及**ウエルスリー**・**マラカ**の二州よりなれる**イギリス**殖民地の總稱にして總督の管治とす面積凡百三十方里あり。

首府**シンガポール**は**レンガポール**島の東南岸に位し、東西交通の咽喉に當ると自由貿易港なるを以て貿易盛にして其年額甚だ多く、世界有数の通商港中に位す、輸出品は錫・香料・護膜・簾細工を主とし、我國より石炭・燐寸・綿布等を輸入す、支那人及我邦人の在留する者多し、マツイ半島内部のベツ
一、其他數州の各首長同盟國を組織して今は英國の保護を脱せり。

島と半島とは僅かに十三町餘の海峡を隔つるのみ、四億五千萬圓に達す、八口亦二十餘萬に達せり

ニ、フランス領インドシナ (French Indo China)

●**境域** インド支那半島の東部を占め、西境はメーコン河を以て限る、分ちて東京安南、東京コシエン、シエン、カンボディアの四部とす安南カンボディアはフランスの保護國にして他は其領土たり。

●**地勢** 横断山脈の餘派域内を縦貫すれども、東京河メコン河の灌漑地には、沃野連り所謂南京米の産地たり、氣候は暑さ烈しく、乾濕の二季に分れ、六月より九月迄は濕季にして降雨甚多し、物産は米穀東京の石炭、安南の肉桂及各地のナーク材、胡椒、ゴム、檳榔樹等なり。

サイゴン(一)は(一)メコン河にありて西貢河に跨り、市街歐

上西貢河の
に在り

洲風にして佛領印度支那總督の駐在する所なり、佛國郵便船の常に寄港する處にして商港と軍港を兼ね、佛國艦隊の根據にして政治及び商業の中心たり、東京の河内、安南の順化、カンボディアのプノムベンPhnom Penhは各地方の首府にして海防は海港たり。

●**住民** 人口黄色マライの雜種にして一般に怠惰無教育なり、多くは孔孟の教を尊び、又佛教耶蘇教を信するものあり、生業は農を主とするも、其實力は移住の支那人の手に歸し、商權亦全く其左右する所なり。

●**沿革** 元は全土安南王國の領地にして十三世紀頃には支那に隸屬し後獨立して專制王國となりしが十八世紀の末に至り内亂引き續き弱て漸次佛國の侵略を受け遂に全土舉げて佛領にあらずんば其保護國となれり、安南の我と通商を開きしは慶長七年なりき。

ニ、フランス領インドシナ (French indo China)

●境域 インド支那半島の東部を占め、西境はメーコン河を以て限る、分ちて東京、安南、コシエン、シーヌ、カンボチアの四部とす。安南、カンボチアはフランスの保護國にして他は其領土たり。

●地勢 横断山脈の餘派域内を縦貫すれども、東京河メコン河の灌漑地には、沃野速り所謂南京米の産地たり。氣候は暑さ烈しく、乾濕の二季に分れ、六月より九月迄は濕季にして降雨甚多し、物産は米穀、東京の石炭、安南の肉桂及各地のナーク材、胡椒、ゴム、檳榔樹等なり。

(一)西貢河の上流十四里に在り

(一)サイゴンはコンチュンレーヌにありて西貢河に跨り、市街歐

洲風にして佛領印度支那總督の駐在する所なり、佛國郵便船の常に寄港する處にして商港と軍港を兼ね、佛國艦隊の根據にして政治及び商業の中心たり。東京の河内、安南の順化、カンボチアのプノムベンPhnompenhは各地方の首府にして海防はHaiphong海港たり。

●住民 人口黄色マライの雜種にして一般に怠惰無教育なり、多くは孔孟の教を尊び、又佛教耶蘇教を信するものあり、生業は農を主とするも、其實力は移住の支那人の手に歸し、商權亦全く其左右する所なり。

●沿革 元は全土安南王國の領地にして十三世紀頃には支那に隸屬し後獨立して專制王國となりしが十八世紀の末に至り内亂引き續き尋て漸次佛國の侵略を受け遂に全土舉げて佛領にあらざれば其保護國となれり、安南の我と通商を開きしは慶長七年なりき。

一名東印度群島と稱す

九、マライ群島 (Malay archipelago)

マライ群島は、^{Sunda}サンダ列島よりなれる孤線の北部一體の島嶼にして、分ちて^{Borneo}サンダ列島、^{Philippine}ボルネオ島、^{Moluccos}フィリピン群島、^{Celebes}セレス島、^{Moluccos}モロッカ諸島とす全部オランダ・イギリス・アメリカ合衆國等に分屬す。

●地勢 諸島火山質の山岳多く活火山到る處に活動し、殊に^{Mindanao}サンダ列島の如きは其の害を蒙ること屢なり、就中^{Mindanao}カトア島破裂の如きは有史以來未曾有の大噴火にして、四近其害を受けしこと非常なり、各島熱帯に位するを以て降雨多量にして、山岳丘陵には森林密叢し、平原は地味豊饒にして熱帯植物に適し、各種の良材香料等有用植物多く礦物

(一) 明治十六年八月の噴山此火炭は全地球に浮遊して世界の住民一時は日光の亦は色と認めたりと云ふ



屋家の人バヤ

には金剛石・石油・石炭等を産し、氣候は炎熱烈しけれども海洋の影響を受け濕地を除けば健康に害なし。
●住民 概ねマライ人種にして農を主とす、^{Malay}瓜哇人は文字を知り耕織の業に熟すれども、内地には人肉を食し或は海賊を業とする蠻民あり、宗教は回教を多しとす。

サンダ列島 ^{Sunda}スマトラ

當地より我
國に輸入す
る砂糖藍
少なからず
父我より
綿糸を
付本等を
入す

大小四百
有餘二萬
面積七五
人口十五
十萬あり
人口十五
を有しマ
イ群島中
大都會な
り

ヤバ・ナモール及び數多の島嶼を含む、スマトラ島は樟腦胡椒石炭石油等を産す、瓜哇島のハタビアは、ジャバ島の北西岸に位しオランダ領マレーヤの首府にして總督駐在の地たり、此處より鐵道東して殆んど全島を貫通し、東北端スラバヤ港に通ぜり、パンカ島よりは錫を産出す。

ボルネオ島は世界第二の大島にして、面積四萬方里人口僅に百五十萬に過ぎず、南方五分の三は蘭領にして北地は英領なり、物産は西穀米、燕巢、樟腦、金剛石、石炭、海參等なり。

フィリピン諸島はパレー海峽を距て、我臺灣に對する群島にして、其主要なる呂宋島は西南に首府マニラ港を控へ貿易盛なり、重要輸出品は砂糖、烟草、マニラ麻等にして、香港の間に海底電線を通じ、定期汽船の往復あり、住民はマライ

一萬二千方
里人口凡二
百萬あり島
の北半は和
蘭に屬し南
半は數多の
部落に分れ
會長に屬す

人支那人多く我國民亦在留し領事館の設あり、我國へは砂糖烟草、苧麻を輸出し、紀州、奈良、阿波、縮、甲斐、絹、洋傘等の輸入あり、セレベス島はK字形の島にして、珈琲、馬烟草及金石炭を産す、モロッカ諸島は面積七千方里人口四十萬に過ぎざる小群島なれども、丁字肉、豈蔻、肉桂等の香料に富めること、世界無比なるを以て一名香料島と稱す、就中アンボyna最著名なり。

括論

●住民 本洲の人口は凡八億七千五百萬ありて、世界總人口の二分の一以上を占む、殆んど本邦の十九倍に當れり、其最稠密なる部分は日本、支那、印度の平地にして、其十分の八

(一) 五億五千
萬人
(二) 二億八千
萬人

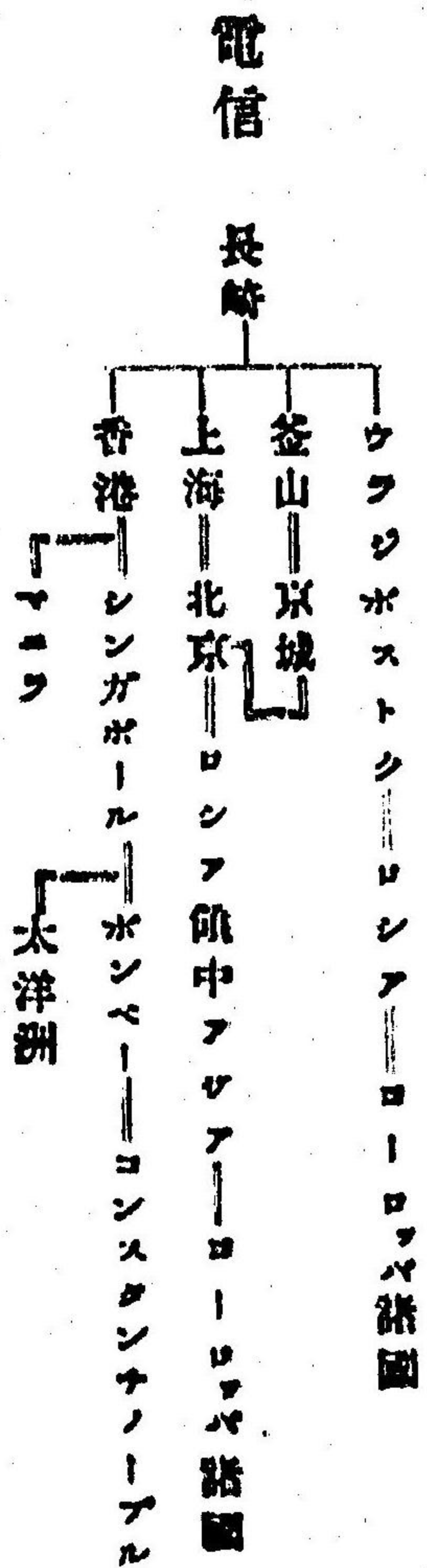
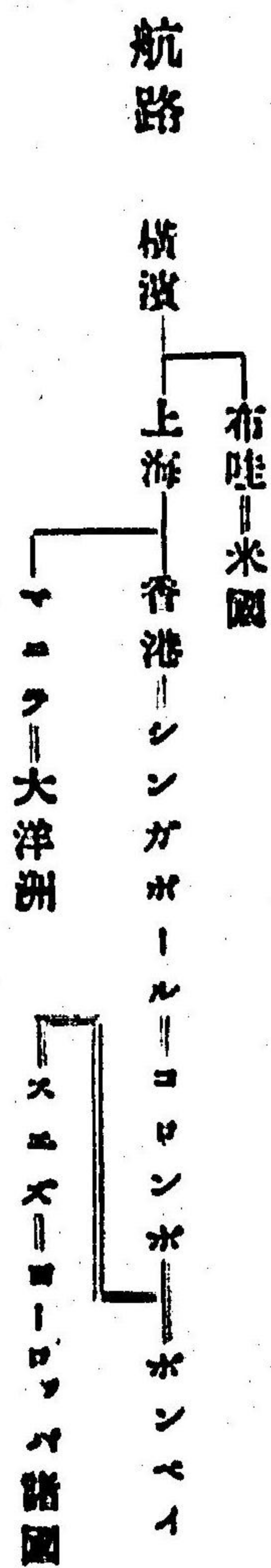
を占め他の諸國は極めて稀疎なり。
人種は蒙古種甚多く本邦朝鮮支那シヤム・ビルマ人等之に
屬し、總人口の十分の七を占む、之に次ぐはカフカス種にし
て西アジア・インド・シベリア等に散在せり、マライ半島及マ
ライ群島にはマライ人種住居すれども其數多からず。此等
の住民は往古に於ては、當時比類なき文明の域に達し、強盛
なる國を建てしが今や神身共に衰へ、歐米諸國の侵略を受
け獨立を維持するものは僅に日本朝鮮支那シヤム・ベルシャ
の外二三の小國あるに過ぎず、且本邦を除くの外國力微々
として振はず、較もすれば強國の爲に乗せられんとす、され
ば本邦人は是が勝接啓發を務め、以て扶植の任に當らざる
べからず。

佛教、婆羅門教、回教、基督教等の大宗教は本洲より起りて全
世界に傳播せりと雖も、皆現時は勢力なし、佛教は東南及中
央アジアに、婆羅門教はインドに、回教は西アジア及ロシア
領中アジアに行はれ、基督教徒は主として各地の都府に散
在せり、本邦支那には儒教を奉ずるもの少からず。

●交通 本洲にて完全なる道路の開通したるは僅に英領
インド及日本にあるのみ、支那にも廣濶なる道路あれども
修理治らず、行路困難なり、其他の道路は自然の足跡道ある
のみ、殊に内地には大山脈横はれるにより南北を連絡せる
行路一もなく、交通不便なり、中央及西アジアの沙漠地方に
ては駱駝を用ゐ、北部にては馴鹿又は犬を用ゐて橋を引か
しむ、鐵道はシベリヤ鐵道の外、東清鐵道、トランスカスピ

道を著名なりとす。又本邦、インド及トルコには其敷設割合に普及し、朝鮮、支那、シヤムにも少許の鐵道あり。航路は北極洋を除く外、到る處本邦及歐米諸國の船舶を見ざるなく、且大河の下流は如何なる大船をも泛ぶるに足るもの多くして、交通至便なり。又内地水路の自在なるは、只支那の東南部とペリヤの平野とのみ。郵便電信は道路鐵道に比して遙に進歩し、重要な都府には大抵通ぜざるはなく、殊に本邦、支那及インドには其設備普及せり。

今日本を中心とせる航路、及電信線路を表示せは次の如し



第二章 大洋洲 (Oceania)

總論

我國の二十
一倍あり

●境域 大洋洲はアジアの東南にあるオーストラリア大陸と、太平洋中、アジア、アメリカに屬せざる無數の群島とを總稱す。其面積凡五十七萬方里ありて、歐羅巴より稍小なり。

●區劃 本洲を大別して、オーストラリア、ポリネシア、ミ

Australasia

Polynesia

クロネシア・メラネシアの四群島とす。
Micronesia Melanesia

●地勢 オーストラリアは不正の五角形をなせる高原にして、**ニューギニア**は形龜の**New Guinea**、**ニューゼaland**は長靴形をなし、**ニューギニア**は形龜の如し。又他の諸島は、大抵火山質若くは珊瑚質より成る。火山島は稍大にして風景に富み樹木繁茂せり、珊瑚島は狭少にして、陸地の縁邊に珊瑚礁を作り、又は輪狀をなして中に海水を堪へ、其一部外洋に通じて自ら良港をなすものあり。

●氣候 本洲は海洋性氣候發達し溫和にして雨量多し、然れどもオーストラリアの内地は、寒暑の差甚しく大陸性氣候にして全く旱魃炎熱の處あり。

一、オーストララシア

オーストララシアはオーストラリア大陸と**Tasmania**及**New Guinea**より成る。

イ、オーストラリア

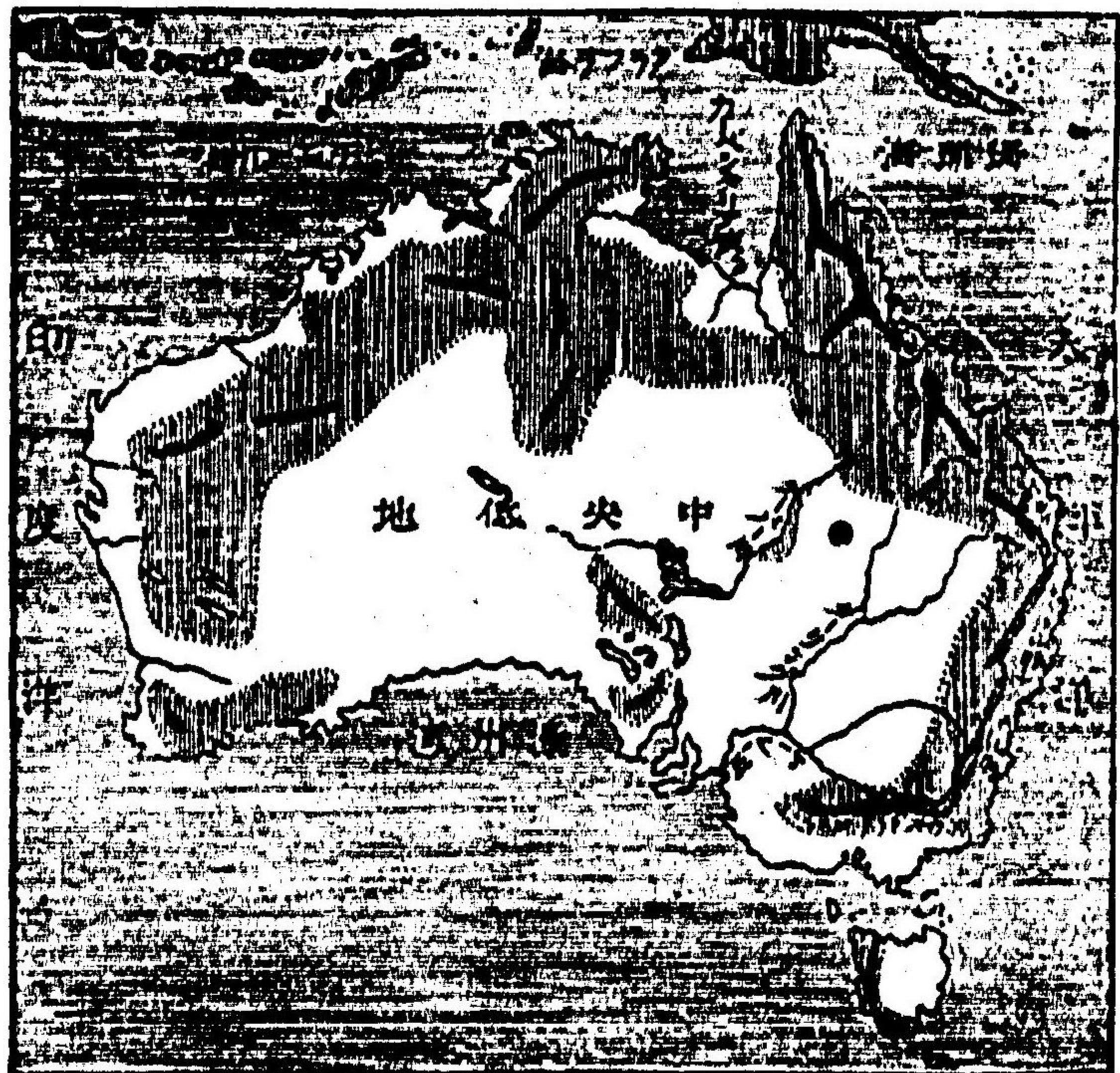
●境域 オーストラリアは本邦の遙か南にある最少の大
陸にして、東は太平洋、南は南極洋、西はインド洋に臨み、北は
アラフワ海を以てマライ群島に、**Torres Straits**海峡を隔て、**New Guinea**
島と相對せり。其面積本邦の凡十七倍に相當す。

●沿岸 屈曲少く僅に北と南にオーストラリア灣及カー
ペンタリア灣の灣入あるのみ。又海岸は断岸多く東北の沿

人口四百五十餘萬あり

漢州とも稱す

海には有名なる長さ六百里の珊瑚礁あり。



オーストラリアの地勢

●地勢 一般に高原にして内地は沙漠草原多く、水流に乏しくして、所々に鹹湖あり、内地の四周は稍高く、東岸のオーストラリアアルプス山脈を著しきものとす。水澁も亦大なるも

のなく、只マールレー河ありて流域頗る廣く長さ凡五百里に違し、上流まで舟楫の便あれども、河口淺くして航行を缺く。一般に濠洲の河流は水量に乏し。

●氣候 北部は熱帯に屬するを以て、炎熱なれども、南部は氣候溫和にして、雨量多し、然れども内地は寒暑の差甚しく二三年間降雨なきことあり。

全大陸南半球に位置を占め、其南半の溫帶地方は本邦と四季全く相反せり、隨て動植物も相反するもの多く、巢は日中に飛揚し、白鳥は黒色にして、花は其香に乏しく、樹木は横枝を出すこと少くして、長く直立せり。

●産物 特産にはユーカリ樹あり有用の木材にして高さ二百五十尺周圍二十尺に達するものあり、カンガロー鴨嘴

Eucalyptus

Kangaroo

火喰鶏・レニュー等あり、元來本大陸は穀物・果實等を産せざりしが、ヨーロッパより移植して、小麦・葡萄・甘蔗等を多く産するに至れり。家畜もヨーロッパより輸入せしものにて、羊・牛・馬等の飼養、盛に、特に羊は數千萬頭に達し、羊毛を輸出する。と世界第一なり、又沿岸には眞珠貝を多く産す。礦物には東部・西部に金を多く産し、銀・石炭等之に次ぐ、其他製造品多くして、麥粉・毛織物・砂糖・肉類の罐詰等を多く英國其他に輸出せり、而して本邦へは、羊毛・肥料・罐詰・麥粉を輸出し、米・絹布・竹材・團扇等を輸入せり。

●政治 全部英吉利の領地にして五州に區劃し、各州に總督を置き、議會を設く、近來タスマニアと共に、聯邦を組織し、大總督を置きて、政治上の統一を計れり。

(一)人口四十
八萬
横濱より五
千八十哩を
隔つ

(二)人口四十
八萬

●ビクトリア州 Victoria 東南隅にあり、氣候溫和、土地肥沃にして、牧羊と農業に適し、加ふるに東岸山脈は、金の産出多くして、羊毛・金・麥粉・皮革等を産し、濠洲中人口最も稠密なり、首府をメルボルンと云ふ、濠洲第一の大都會にして、良港を有し、我郵船會社の航路に當れり、市街は美麗にして、壯大の大學校及圖書館等あり。

●ニューサウスウェールズ州 New South Wales 本州中最古き殖民地にして、牧羊最も盛に、石炭を多く産す、首府シドニー^(三)は良港を有し、市街壯麗、濠洲艦隊の根據地にして、本邦領事館あり。

●クイーンズランド州 Queensland 首府をブリスベーンと云ふ、其西北にタウンズビル^(四)ありて、本邦領事館を置く、附近に金及羊毛を多く産し、本邦人の在留するもの多し、州の北方にヨーク^(五)

ク岬突出し、其沿海に木曜島あり、眞珠貝の産出多きを以て、
本邦人の在留多く、我郵船會社の航路に當れり。

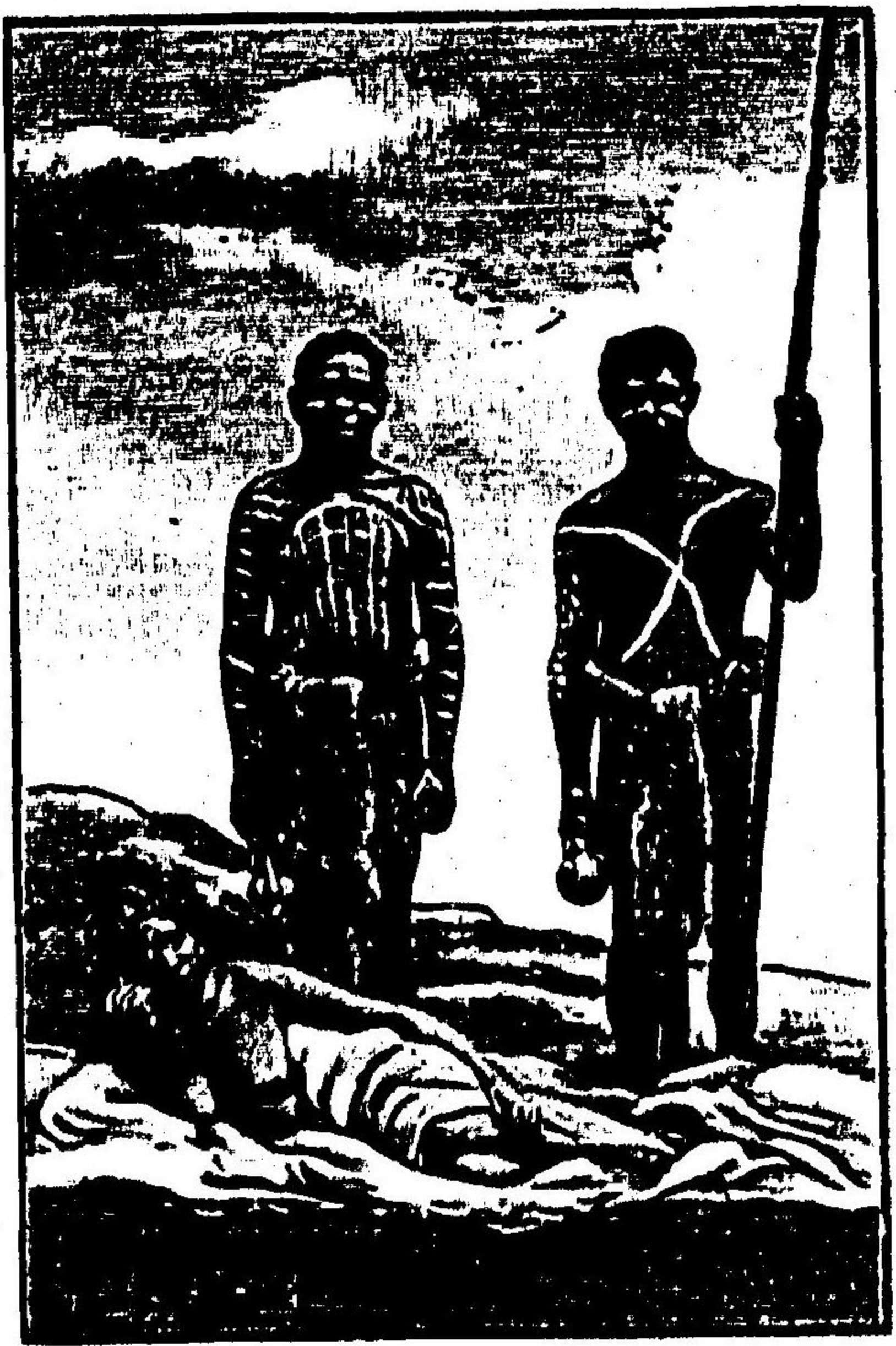
人口十五萬

●南オーストラリア 首府、阿德莱德は羊毛、小麦の輸出多し。ポートメルウィンPort Darwinは良港を有し、海底電線の起點に當れり。

●西オーストラリア 濠洲中人口最も少き處なれども、近年金鑛の産出多きを以て、漸次人口を増加す。ペルスは首府にして、西岸にあり。

●住民 濠洲は元濠洲黑人種の住所なりしが、金山の發見ありしより、英人の移住者多く、現今にては四百五十萬に達し、支那人及本邦人の移住者多し。基督新教盛に行はる。

●交通 電線はアデライド・ブリスベン・メルボルン等を通じ



クキヌラソト人

北岸のポートメルウィンより、海底電線ありて、シंगाポールに達せり。鐵道は東南部及西部に

盛に敷設せられ、延長九千哩に達せり。又汽船の交通便利にして、日本郵船會社の航路も、横濱より香港を経て、濠洲沿岸の諸港に至れり。
タスマニア島は濠洲大陸の東南にありて、其面積本邦の六

人口三萬
本島は西暦
千八百四年
より英國に
屬す

二萬二千
尺

の一を占め、人口十五萬あり、氣候溫和にして、南半球中の健
康所と稱せらる、首府ホバート Hobart は市街美麗にして、風景に富
む、物産は羊毛、柔皮、金、果實等なり。

ロ、ニージーランド (New Zealand)

濠洲の東南洋中にあり、南島、北島より成り、面積本邦の三分
の二を占め、人口六十萬あり、島内山岳多く、クック山 Cook 最高し、氣
候溫和、牧羊、採金の業盛にして、森林よりは良材を産す、北島
南岸にあるウエリントン Wellington は首府にして良港あり、全部英國
の殖民地にして、總督を置き議會を設く。

一、ポリネシア (Polynesia)

ポリネシア群島は、略南北兩回歸線の間にある群島にして、
位置熱帯中にあれども、海軟風の爲め、氣候溫和にして、地味
肥へ、麵包菜、バナナ等の如き、土人の常食菓物を産し、サント
ウィチフレンドリー Friendly サモア Samoa クック Cook ソシエテ Society
等の諸群島を含
む。

● サンドウィチ群島 我國と亞米利加との中間なる、大
小二十有餘の火山質より成る群島にして、最大島を布哇と
云ふ、土人は僅に三萬五千にして、他は皆外國人なり、故に政
治上、實業上の權力は、皆外國人の手にあり、本邦人も近來當
地に來るもの日に多きを加へ、三萬餘の出稼人ありて、主に
製糖業に従事す。此國はもと共和國なりしが、近年北米合衆
國に合併せり。氣候溫和にして、地味豊に砂糖、綿等を産し、牧



サモア近附諸島の首長

著亦盛に行はる。首府ホノル
ルはオアフ島Oahuにあり、良港を
有し、大船巨船を入るべく、交
通便利にして、サンフランシスコ
San Francisco
スコンドニー等の定期汽船
常に本港に來り、商業繁盛群
島第一の大都會にして、日本
總領事館あり。

●フレンドリー群島
フレンドリー群島の東南にある英
吉利領なり。

●サモア群島 フレンド

リー群島の北東にあり、もと獨立の王國なりしが近年獨逸
の保護國となれり、首府アピアApiaは交通便利、商業稍盛にして
大洋洲中、獨逸領の一要地なり。

●クック群島 ツモア群島の東南にある英領なり。

●ソシエテ群島 サモア群島の東方にあり、其最大島を
タヒテTahitiと云ひ、風景絶佳、大平洋の樂園と稱せらる。佛蘭西領
にして眞珠、コブラCobra等を産す。

三、ミクロネシア

ミクロネシア群島は我が小笠原島の南、赤道以北に散在す
る群島にして、マリヤナMariane、カロリナCaroline、マルレルMarshall、メルメルトGilbert等を
含む。

●マリアナ群島・カロリナ群島 我が國の南方にある富士火山脈の一部にして、もと此兩群島は共に西班牙の領



南洋土人バ菜を擔ふ

地なりしが、米西戦争

の結果、其最大島グア

Guam

ムは北米合衆國に屬

し、其他の群島は獨逸

に讓與したり。椰子甘

蔗、龜甲等を産す。

●マルシャル群島

ジルベルト群島

カロリナ群島の東にある、珊瑚島にして、前者はドイツ領、後者はイギリス領なり、共に珊瑚、甘蔗等を産す。

四、メラネシア (Melanesia)

メラネシア群島は、オーストラリアと赤道との間に散在する、ニューギニア、フジー群島等の總稱なり。

New Guinea

面積四萬九千方里

●ニューギニア オーストラリアの北方に位し、世界第一の大島にして、略我國の二倍あり、内地は山岳重疊す。位置熱帯中にありて、氣候風の影響を受け、雨多きを以て、屢洪水の憂あるも、舟運の便大に、樹木繁茂せり。産物は良材多く、烟草、甘蔗、椰子等熱帯性の植物を生じ、動物はオーストラリアと同じく有袋類及美麗の鳥類多し。

本島の管轄は西半部を和蘭領とし、北東部を獨逸領、南東部を英吉利領とす、住民はバブア種にして、頑陋の蠻人なり、今

Papua

猶獨木舟に乗りて近海を航し、水上に家を構へて住するものあり。

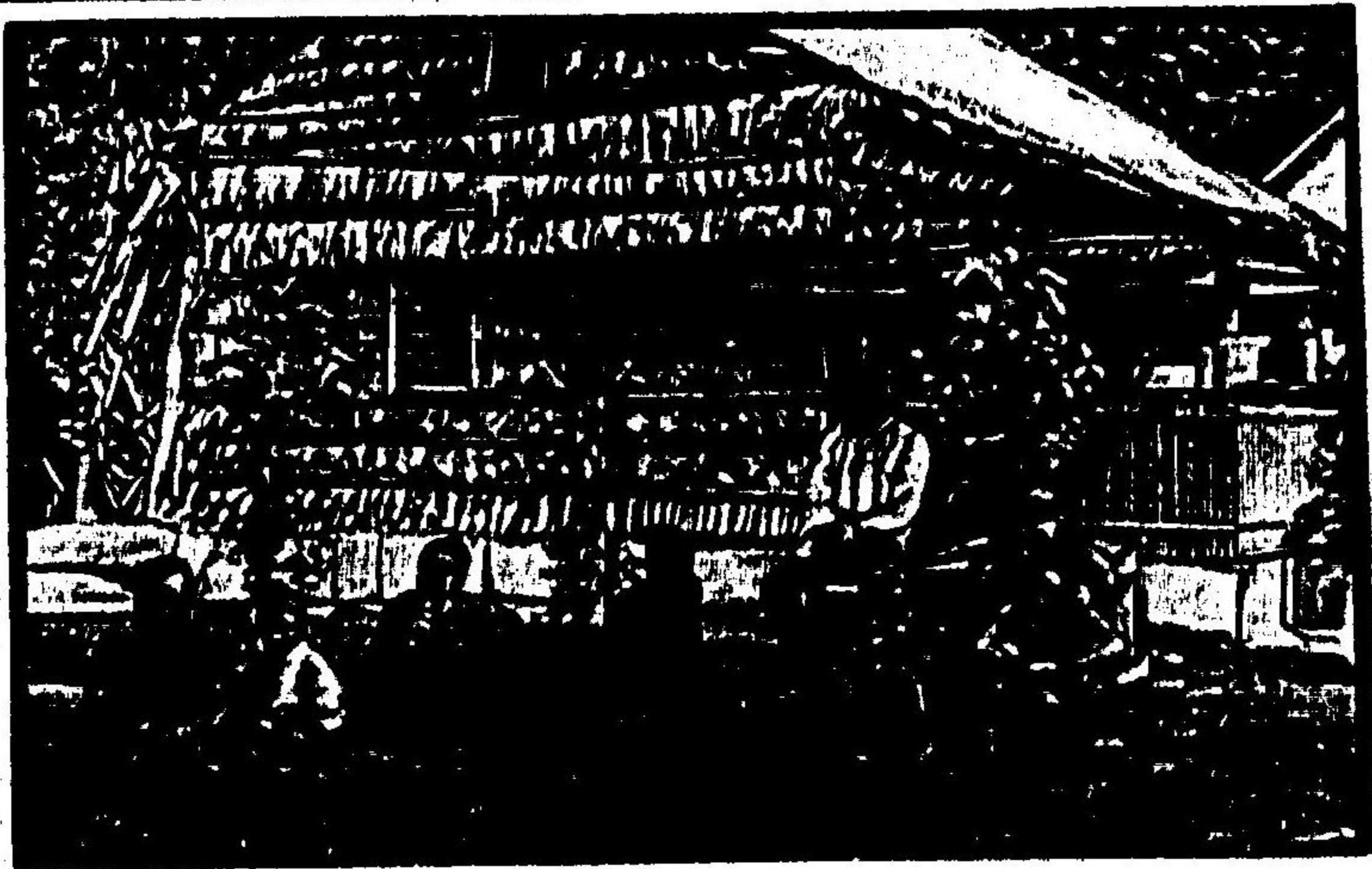


リイギリス・ドイツに分属す。

舟木網と人アアバ

●ビスマル
Bismarck
ク群島 ニ
ーギニアの東
北にある太平
洋ドイツ領中
の要地なり。

●ソロモン
Solomon
群島 ニーギ
ニアの東にあ



屋家の人ツイラフヘー

●ニューヘブリッド群島
New Hebrides
英吉利の保護地なり。

●ニューカレドニア群島
New Caledonia
ーストラリアの東にあり、氣候

良好地味豊にして、佳良の珈琲、
白銅を産し交通便利にして大
洋洲中、フランス領の一要地なり。

●フィジー群島 ニューヘブ
ライズ群島の東にあるイギリ
ス領にして、土人は狂暴なる食
人種なりしが、基督教の感化と
教育の力により、次第に進歩せ

り。産物は菓實、材木を出し、港灣良好にして、太平洋交通の中心に當れり。

括論

●住民 人種は各部一ならず。要するにオーストラリア種、マホリ種、パプア種、ミクロネシア種、ポリネシア種等の蠻人にして、中には狂暴人を食するものあり、然れども基督教の感化と教育の力により、漸々發達し來



りしが、土人次第に減少し、イギリスは勿論日本、ドイツ、フランス、支那等の移住民、日に多きを加ふ。宗教は基督教を奉ずるもの多く、教育は大に發達し、オーストラリア、ニュージールランド等には大學の設けあり。

●政治 本洲中一も獨立の國なく、殆んど全くイギリス、ドイツ、フランスの三國に領せられ、ニューギニアの西方一部は和蘭に屬し、サンドウナ群島は北米合衆國に合併し、グアム島はイスパニアより北米合衆國に讓與したり。

●生業 氣候の調和宜しく、土地肥沃なるを以て、産物多く、山林には良材を出し、農産には甘蔗、烟草、珈琲、綿米、其他麵包果、バナナ等の菓實多く、香料、護膜も亦所々に産す、麵包果は本洲の特産物にして、布哇の甘蔗は世界に名あり、動物には

羊・牛・馬・騾を主なるものとし、英麗の鳥類多し。礦物は豊富にして金・銀・銅・鐵・白銅・石炭等を出し、殊にオーストラリアの金及羊毛、ニールカレドニアの白銅は世に有名なり。其他海中よりは眞珠及魚類を生じ、種々の製造も亦盛なり。

●交通 地理上の位置、アジア・アメリカの中間にあるを以て此兩大陸は勿論、インド・アソリカを経て、ヨーロッパ各國に至る船舶の定期航海あり。内地には鐵道・郵便・電信漸次大に發達し、各須要の地を連絡せり。海底電線は、ニール・ランド・タスマニア・オーストラリア間、ニール・ギニア・オーストラリア間及オーストラリアよりレンガポールに至り、世界各國に連る。殊に北米合衆國・サンドウイチ間には近來海底電線を架設するの計畫中にして、本邦・サンドウイチ間にも亦海底電線

を架設するの計畫ありと云ふ。本邦郵船會社汽船のオーストラリア線とは本洲に定期航海をなすものにて、亦アメリカに航する汽船も本洲に立寄るもの多し。本洲中赤道以南にあるものは四季の氣候全く我國に反し、我が夏は彼の冬にして、需用供給の便よろしく、近來南洋貿易の聲高き亦謂れなきにあらざるなり。

最新外國地理教科書上卷終

明治三十五年十二月廿八日印刷
 明治三十六年一月八日發行



發行所

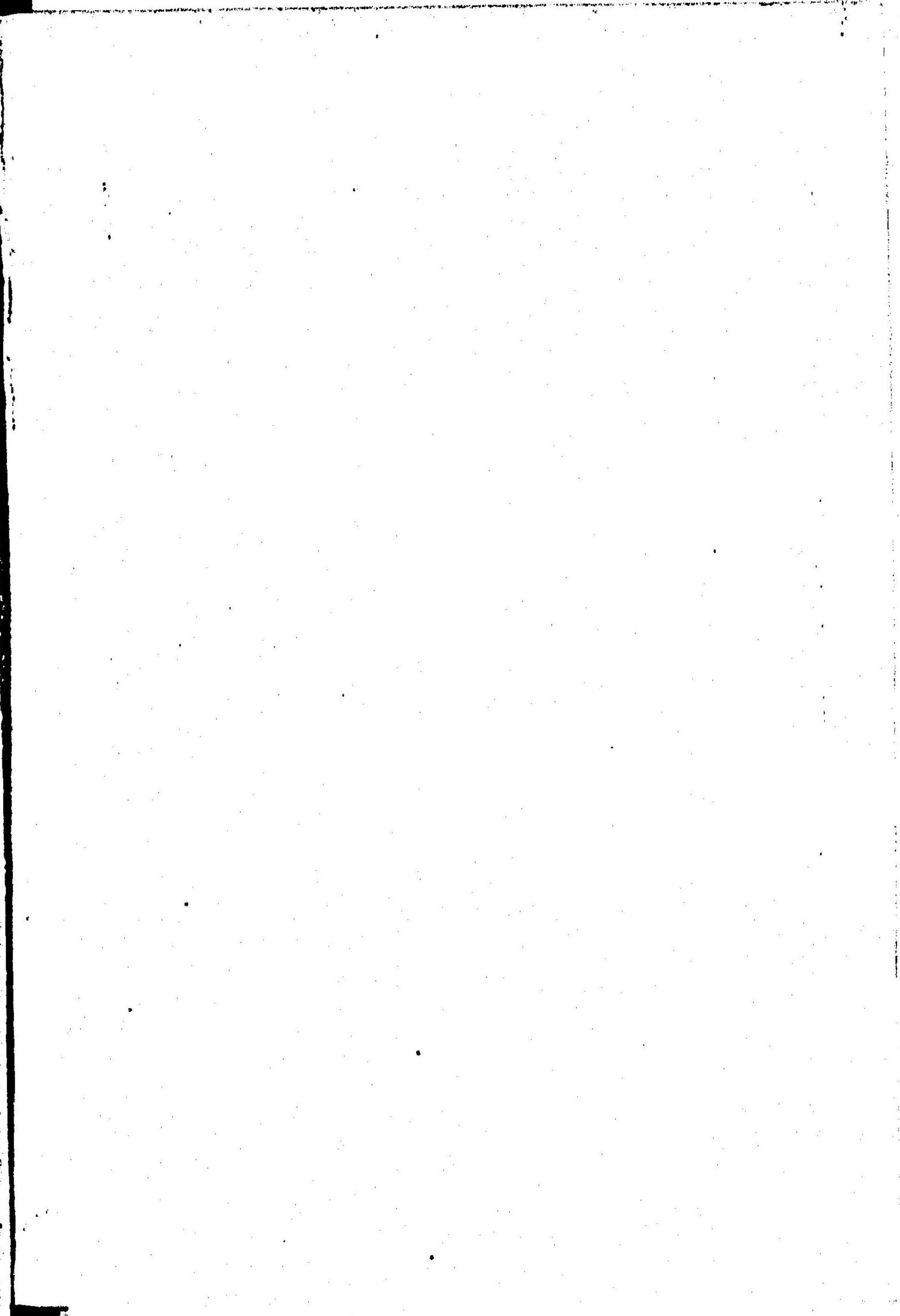
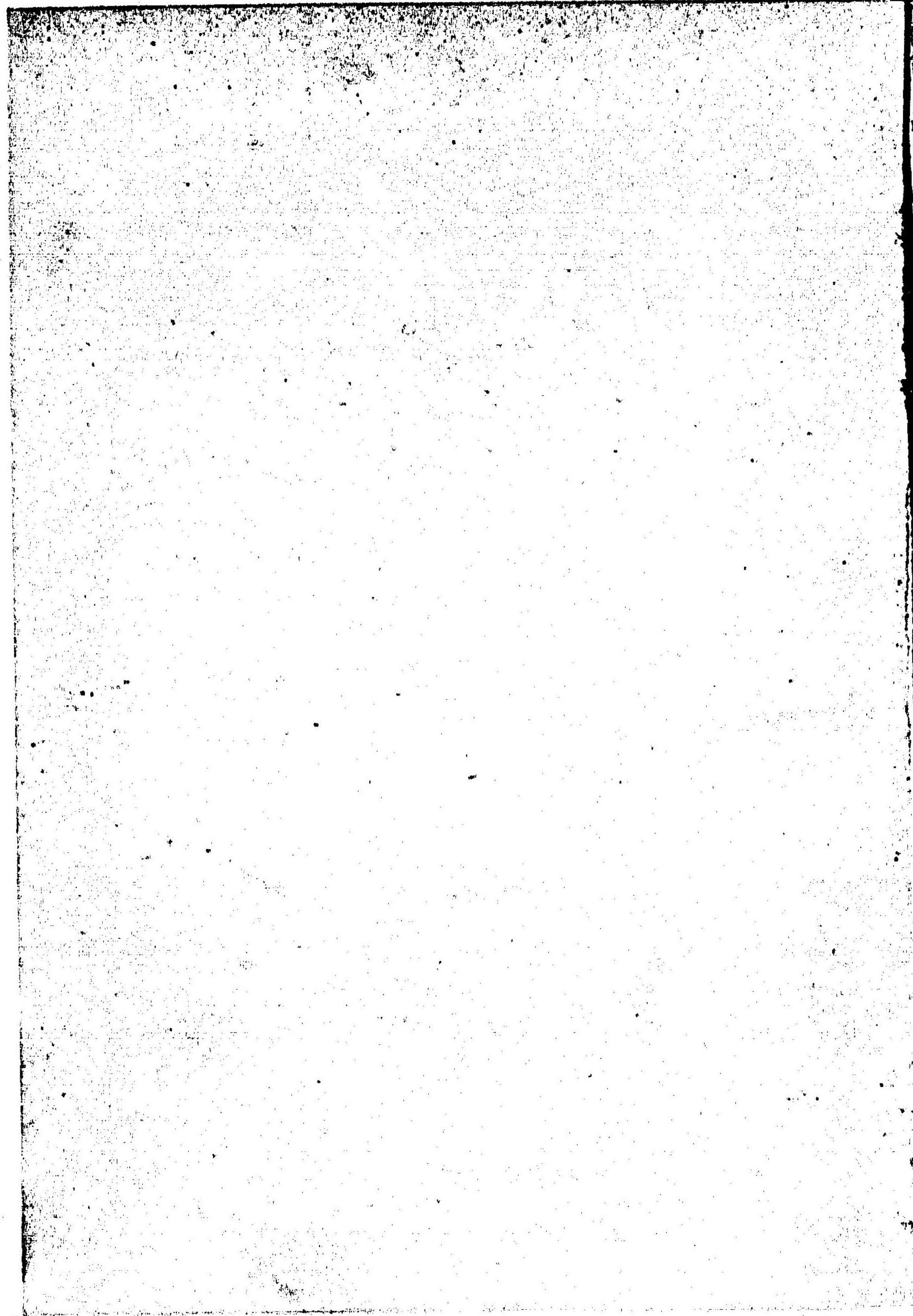
六盟館

(電話本局一六九八)

日本橋區本石町三丁目十二番地

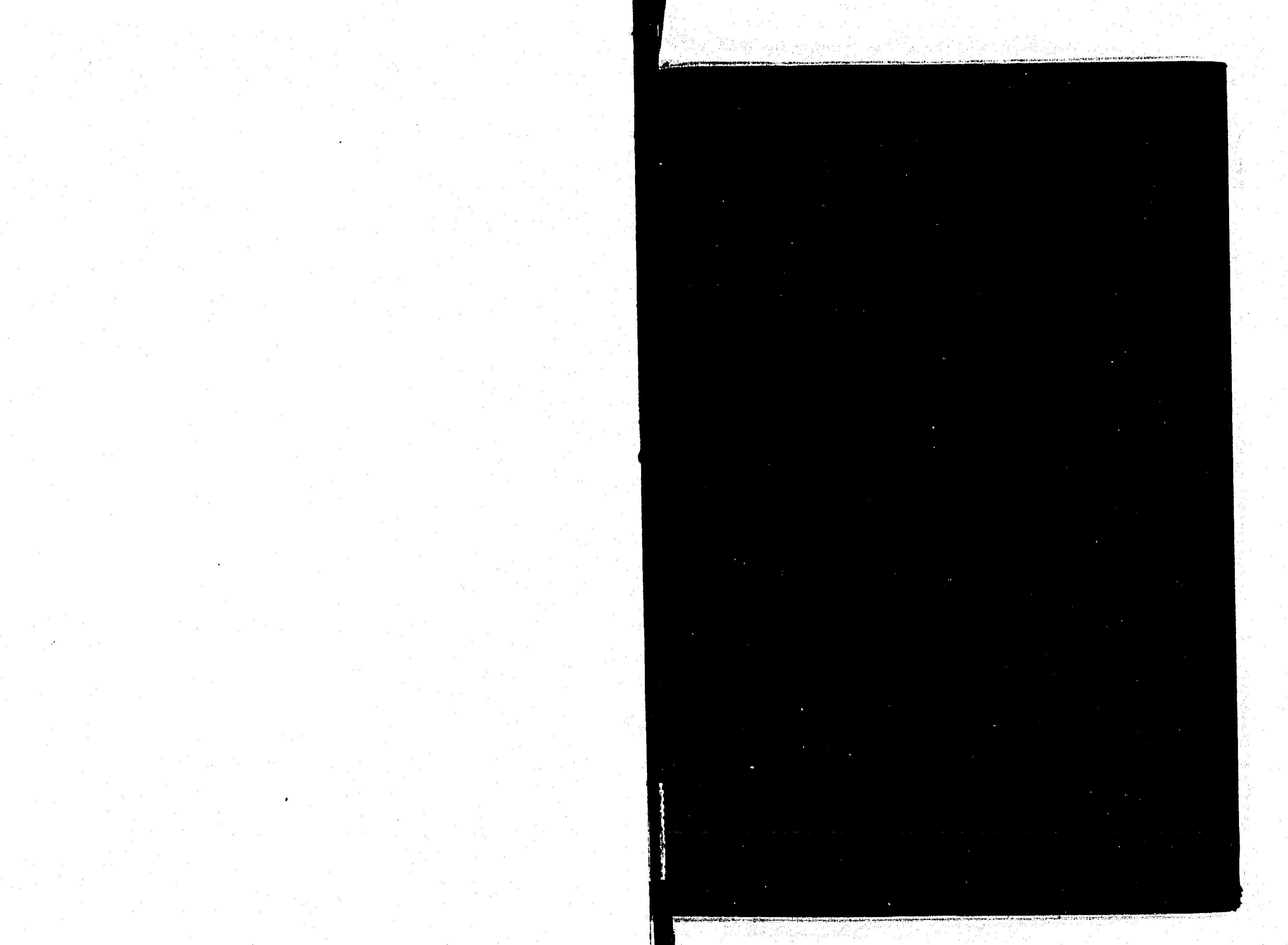
編著者	中等教育教授法研究會
發行者	東京市日本橋區本石町三丁目十二番地 杉本 七 百 九
全	全市全區 榑 原 友 吉
全	全市京橋區南陣馬町三丁目十五番地 目 黒 甚 七
全	全市日本橋區本石町三丁目十七番地 小 林 喜 太 郎
全	全市京橋區南陣馬町三丁目十五番地 目 黒 十 郎
全	全市龜町區有樂町三丁目二番地 大 西 鍊 三 郎
印刷者	全市京橋區馬町二十四番地 三 協 合 資 會 社
印刷所	

最新外國地理上卷
 定價金四拾五錢



86
308





86
308

021948-001-9

86-308

最新外国地理教科書

中等教育教授法研究会

上

M36

ADA-0196



